

Camera Control Pro 2 ソフトウェア

使用説明書 (リファレンスマニュアル)

■ はじめに

この使用説明書の構成、Camera Control Pro 2 の概要（主な機能および動作環境）、使用前の準備などについて記載しています。

■ 操作ガイド

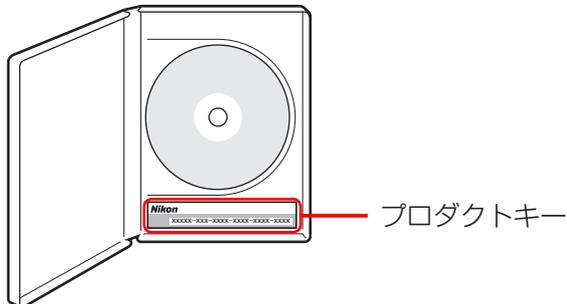
Camera Control Pro 2 の各機能の操作手順について記載しています。

■ 付録

環境設定の詳細、アンインストールの手順などについて記載しています。

重要：Product Key（プロダクトキー）について

ケースに添付されているプロダクトキーは大切に保管してください。プロダクトキーを紛失された場合、再発行できません。このプロダクトキーは、本ソフトウェアをインストールする際に必要になります。また、将来新しいバージョンにアップグレードする際にも必要になります。



はじめに

はじめにお読みください	3
この使用説明書について	6
インストール	7
	<i>Windows</i> 8
	<i>Mac</i> 10
ご使用になる前に	
ソフトウェアの起動と終了	12
ヘルプの表示	16
ソフトウェアの更新	17

見出しやページ番号をクリックすると、その項目の説明ページに移動します。

はじめにお読みください

1/3

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

Camera Control Pro 2 の概要

- ・カメラとパソコン接続して、カメラのほとんどの機能をパソコンから操作できます。撮影した画像は、パソコンやメモリーカードに保存できます。対応するカメラの場合、ライブビュー撮影や動画撮影もできます。
- ・ワイヤレストランスミッター WT-4、WT-5、WT-6 または WT-7 などに対応するカメラでは、無線 LAN でカメラとパソコンを接続できます。
- ・撮影した画像は ViewNX-i、Caputre NX-D などのソフトウェアと連携できます。

表記について

- ・この使用説明書は、カメラやパソコンの OS に関する基礎的な知識をお持ちの方にお読みいただくことを想定しています。基本的な用語や操作などについてはカメラやパソコンの使用説明書などでご確認ください。
- ・この使用説明書では、古いバージョンの Camera Control Pro と区別するときなどを除いて Camera Control Pro 2 の「2」を省略して「Camera Control Pro」と表記しています。
- ・この使用説明書では、D4S、D4 をまとめて「D4 シリーズ」、D3S、D3X、D3 をまとめて「D3 シリーズ」、D300S、D300 をまとめて「D300 シリーズ」と表記しています。
- ・Windows 10 のすべてのエディション (Home、Pro、Enterprise、Education) を「Windows 10」と総称しています。
- ・Windows 8.1 のすべてのエディション (Pro、Enterprise) を「Windows 8.1」と総称しています。
- ・Windows 7 のすべてのエディション (Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) を「Windows 7」と総称しています。
- ・OS によってメニュー名が異なる場合は、「Windows のメニュー名 (macOS/OS X のメニュー名)」と表記しています。
- ・メニューやフォルダの操作順を、矢印 (→) で示しています。
- ・コンパクトフラッシュ (CF) カードや SD メモリーカードなどを「メモリーカード」と表記しています。

はじめにお読みください

2/3

この使用説明書で使用する画面について

この使用説明書は、Windows と Mac の macOS/OS X を同時に説明しています。説明中では、Windows 10 の画面を主に使用していますが、操作方法は Windows/Mac でほぼ共通です。画面に表示されている画像は、はめ込み合成によるものが含まれています。

ただし、OS の種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作がこの使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用の OS の使用説明書をご覧ください。

この使用説明書を印刷するには

この使用説明書を印刷する場合は、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の [ファイル] メニューから [印刷] を選択してください。この使用説明書は A5 サイズです。A4 サイズの用紙に印刷する場合は、2 ページを見開きで印刷してください。パソコンの画面で見開き表示にしたときと同じ状態で印刷するには、2 ページ目から印刷を開始してください。

Camera Control Pro のインストール / アンインストール時のご注意

Camera Control Pro をインストール / アンインストールする際は、管理者 (Administrator) 権限のアカウントでログオンしてください。

重要

- Camera Control Pro の各種設定は、カメラの機種により設定内容が異なります。詳しい内容はご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
- Camera Control Pro は、パソコンからカメラをコントロールするソフトウェアです。撮影後の画像を編集することはできません。

使用する画面について

ここでは、主に D5 使用時の画面を使用し、設定内容が大きく異なる画面のみ、他のカメラのものを併記しています。

はじめにお読みください

3/3

カスタマー登録 / サポート窓口のご案内

カスタマー登録とサポート窓口については、[Welcome] ウィンドウの [Nikon オンライン関連リンクボタン] をクリックすると表示される画面の [カスタマー登録] ボタンをクリックしてください。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。



カスタマー登録

ご注意

- あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があるのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
- この使用説明書の一部あるいは全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- この使用説明書に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書を使用して操作した結果については、当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

商標説明

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Mac および macOS/OS X は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

この使用説明書について

使用説明書の見方

使用説明書の各ページは以下のようになっています。

① はじめに 操作ガイド 付録

② **Camera Control Pro パネルの設定** 16/37

③

【ドライブ】パネル

【ドライブ】パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。



④

カメラのレリーズモードを確認・変更できます。選択できるモードは接続したカメラによって異なります。

D5/D4 シリーズ /D3 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D700/D610/D600/D500/D300 シリーズ /D7500/D7200/D7100/D7000/D6: [カメラ本体のコントロールを有効にする](#) がチェックされているときは、カメラで設定したレリーズモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定したレリーズモードにかかわらず、レリーズモードを変更できます。また、D5 を接続している場合、レリーズモードダイヤルが  (クイック設定ポジション) に設定されているときは、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされていてもパソコン上でレリーズモードを変更できません。

D90/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000：カメラ本体のレリーズモードを [セルフタイマー撮影]、[2 秒リモコン撮影]、[瞬時リモコン撮影] に設定した場合、[1 コマ撮影] になります。

D5600：カメラ本体のレリーズモードを [セルフタイマー撮影] に設定した場合、[1 コマ撮影] になります。

⑤ 表紙に戻る Camera Control Pro 2 78

- ① ここをクリックすると、3 つの章それぞれの最初のページに移動します。現在見ている章が濃く表示されています。
- ② ページのタイトルです。
- ③ 機能の説明です。
- ④ [青色の文字](#)をクリックすると、関連するページに移動します。リンク先から元のページに戻るには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の [前の画面] ボタン () をクリックしてください。
- ⑤ ここをクリックすると、表紙に戻ります。

インストール

Camera Control Pro 2 をインストールする前に、以下の点についてご確認ください。

- Camera Control Pro 2 の動作環境は、[ダウンロードセンター](#)のダウンロードページに記載されている「ソフトウェア紹介」をご確認ください。
- ウィルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

ご使用のパソコンの OS 名をクリックし、インストール手順をご覧ください。

[Windows](#)

[Mac](#)

古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合は、古いバージョンがアンインストールされてから、新しい Camera Control Pro 2 がインストールされます。

Camera Control Pro 2 がすでにインストールされている場合

すでに Camera Control Pro 2 がインストールされている場合は、インストールの操作中に Camera Control Pro 2 のバージョンに関するダイアログが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

Camera Control Pro をアンインストールする場合

[Camera Control Pro のアンインストール方法](#)をご覧ください。

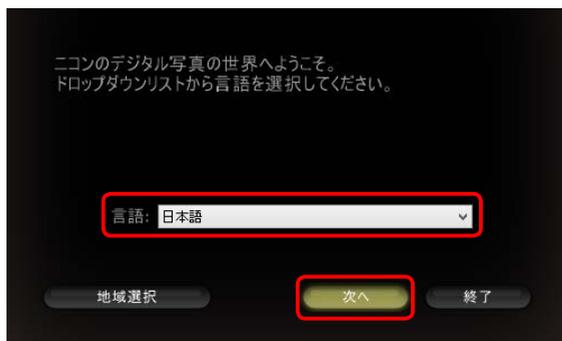
インストール

Windows 1/2

Camera Control Pro をインストールする場合は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

Camera Control Pro 2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてインストーラーを起動し、言語を選んで [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。

- ・ [言語] メニューに選択したい言語がない場合は、[地域選択] ボタンをクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。



[Welcome] ウィンドウ



インストール

必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

ViewNX-i ダウンロード

インターネットに接続できる環境の場合、インターネットブラウザが起動し、ViewNX-i をダウンロードできるページが表示されます。

[ViewNX-i を使用する](#)と、Camera Control Pro で撮影した画像をすぐに確認できます。Camera Control Pro には画像ビューアが内蔵されていないため、ViewNX-i をダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

終了

[Welcome] ウィンドウを閉じます。

Nikon オンライン関連リンクボタン

Capture NX-D や Nikon NEF Codec のダウンロードページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro で使用していたビューアは使用できなくなるため、ViewNX-i をインストールすることをおすすめします。

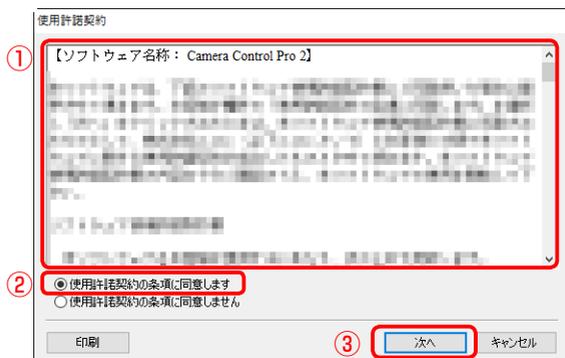
インストール

Windows 2/2

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

1 [Welcome] ウィンドウで [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

2 使用許諾契約が表示されたら、内容 **①** をよくお読みの上、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択 **②** し、[次へ] ボタン **③** をクリックしてください。



3 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

4 [はい] をクリックしてインストールを終了し、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

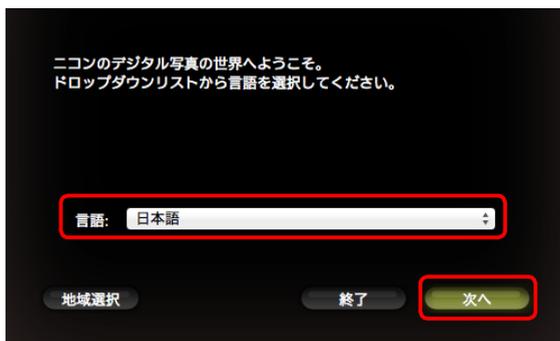
インストール

Mac 1/2

Camera Control Pro をインストールする場合は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

Camera Control Pro 2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてインストーラーを起動し、言語を選んで [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。

- ・ [言語] メニューに選択したい言語がない場合は、[地域選択] ボタンをクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。



[Welcome] ウィンドウ



インストール

必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

ViewNX-i ダウンロード

インターネットに接続できる環境の場合、インターネットブラウザが起動し、ViewNX-i をダウンロードできるページが表示されます。

[ViewNX-i を使用する](#)と、Camera Control Pro で撮影した画像をすぐに確認できます。Camera Control Pro には画像ビューアが内蔵されていないため、ViewNX-i をダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

終了

[Welcome] ウィンドウを閉じます。

Nikon オンライン関連リンクボタン

Capture NX-D や Nikon NEF Codec のダウンロードページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro で使用していたビューアは使用できなくなるため、ViewNX-i をインストールすることをおすすめします。

インストール

Mac 2/2

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

- 1 [インストール] をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを進めてください。



- 2 使用許諾契約が表示されたら、内容をよくお読みの上、[同意する] ボタンをクリックしてください。



- 3 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

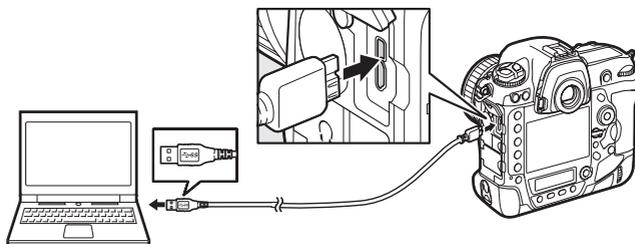
- 4 [OK] をクリックしてインストールを終了し、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

ソフトウェアの起動と終了

1/4

Camera Control Pro を起動する

- 1 カメラの電源を OFF にして、カメラと起動済みのパソコンを USB ケーブルで接続します。パソコンとの接続方法についてはカメラの使用説明書をご覧ください。



ワイヤレストランスミッター WT-6 および WT-7 などによる無線 LAN または有線 LAN 接続について

- Camera Control Pro は、ワイヤレストランスミッターで無線 LAN または有線 LAN 接続したカメラを、PC モードに設定して使用することもできます。接続方法についてはご使用のワイヤレストランスミッターの使用説明書をご覧ください。接続後の動作は、カメラを USB ケーブルで接続した場合と同様です。
- macOS/OS X をご使用の場合、無線 LAN または有線 LAN でカメラと接続すると、Mac 付属アプリケーションのイメージキャプチャが起動し、[共有] 欄に接続したカメラが表示されます。イメージキャプチャでカメラを選択すると、そのカメラと Camera Control Pro が接続できなくなりますのでご注意ください。

Camera Control Pro を起動する前に

D3 シリーズ、D300 シリーズ、D7000 の場合、カメラのレリーズ（動作）モードを [ミラーアップ撮影] 以外にセットしてください。

USB の設定について

カメラのセットアップメニューに「USB」がある機種の場合、Camera Control Pro を起動する前に [PTP] または [MTP/PTP] に設定してください。

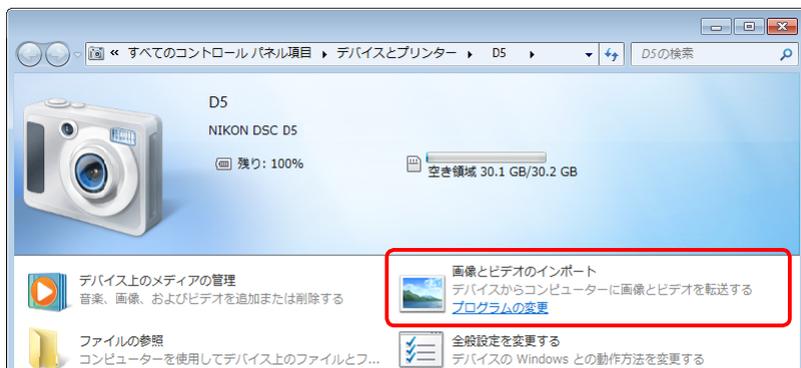
ソフトウェアの起動と終了

2/4

- 2** カメラの電源を ON にします。
Nikon Transfer が起動したときは終了してください。

Windows7 のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

下の画面が表示されたときは、[画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックし、画面に従って使用するプログラムとして Camera Control Pro 2 を選びます。



ソフトウェアの起動と終了

3/4

3 Camera Control Pro を起動します。

プロダクトキーについてのご注意

Camera Control Pro を初めて起動したときは、プロダクトキーを入力するダイアログが表示されます。[パッケージに記載されているプロダクトキー](#)を入力①して、[OK] ボタンをクリック②してください。

- ・プロダクトキーは半角で入力してください。
- ・プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。
- ・アップグレード版の Camera Control Pro の場合は、前のバージョンのプロダクトキーも必要になります。



プロダクトキーの入力

ソフトウェアの起動時にプロダクトキーの入力画面が表示された場合は、[パッケージに記載されているプロダクトキー](#)を入力してから、[OK] ボタンをクリックしてください。プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

トライアル版をご使用の場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。起動のたびに、プロダクトキーの入力画面が表示されます。[トライアル] ボタンをクリックすると、Camera Control Pro をご試用 (30 日間) いただけます。[オンラインショップへ] ボタンをクリックすると、プロダクトキーの購入サイトが表示されます。

重要

Camera Control Pro を起動する前に、カメラとパソコンが接続されていない、またはカメラの電源が OFF になっている場合には、[Camera Control Pro] ウィンドウが以下のように表示されます。この場合、主な機能を使用することができません。カメラとパソコンを接続し、カメラの電源を ON にしてください。



ソフトウェアの起動と終了

4/4

Camera Control Pro を終了する

Windows

[ファイル] メニューから [終了] を選択する。



Mac

[Camera Control Pro] メニューから [Camera Control Pro を終了] を選択する。



カメラとパソコンの接続を解除する

カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを取り外してください。

ヘルプの表示

操作方法についてわからないことがあった場合は、ヘルプをご参照ください。
[ヘルプ] メニューから [Camera Control Pro ヘルプ] を選択すると、Camera Control Pro のヘルプ画面が表示されます。



Windows



Mac

ソフトウェアの更新

Camera Control Pro をインストールすると、Camera Control Pro などの更新情報をチェックするソフトウェアのニコメッセージセンター (Nikon Message Center 2) がインストールされます。ご使用のパソコンがインターネットに接続されていれば、Camera Control Pro の更新情報などを自動的にチェックします。更新情報がある場合は、ダイアログが表示されます。更新情報の表示タイミングについて、詳しくはニコメッセージセンター (Nikon Message Center 2) のヘルプを参照してください。

メニューから Camera Control Pro を更新する場合

[ヘルプ] メニューから [ソフトウェアのアップデート] を選択しても、新しいバージョンの Camera Control Pro があるかをチェックできます。

ソフトウェアアップデートについてのご注意

ソフトウェアをアップデートする際は、ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境である必要があります。

プライバシーポリシーについて

本サービスにより提供されたお客様の個人情報を、お客様の同意なしに第三者に開示することはありません。

操作ガイド

Camera Control Pro の画面構成	19
これから撮影する画像をハードディスクに保存する	21
撮影した画像を確認する	28
ライブビュー画面で撮影する	29
動画撮影	50
インターバルタイマー撮影	52
Camera Control Pro の各機能	57
Camera Control Pro パネルの設定	63
コントロール設定の保存と読み込み	100
[カメラ] メニューについて	102
カスタムセッティング	110
フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)	112
HDMI (Z 7/Z 6)	119

Camera Control Pro の画面構成

1/2

Camera Control Pro の画面構成は以下のようになっています（画面は D5 の例です）。

Windows



- ① **メニューバー**
- ② **接続表示**: カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。
- ③ **表示切り換えボタン** ▼ / ▶: パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。
- ④ **パネル選択用タブ**: クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。
- ⑤ **Camera Control Pro パネル**: カメラ側の各種設定を行うことができます。
- ⑥ **LCD 領域**: カメラの「ファインダー内表示」や液晶モニターと同様の情報が表示されています。
- ⑦ **撮影ボタン**: カメラのシャッターボタンと同様の機能です。[ショートカットキー](#)を割り当てることもできます。
- ⑧ **フラッシュボタン**: [フラッシュ発光] ウィンドウが表示されます。接続したカメラの静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] が選択可能な場合に有効になります (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)。
- ⑨ **ライブビュー起動ボタン**: [ライブビュー] ウィンドウの表示・ライブビューの開始を行います。

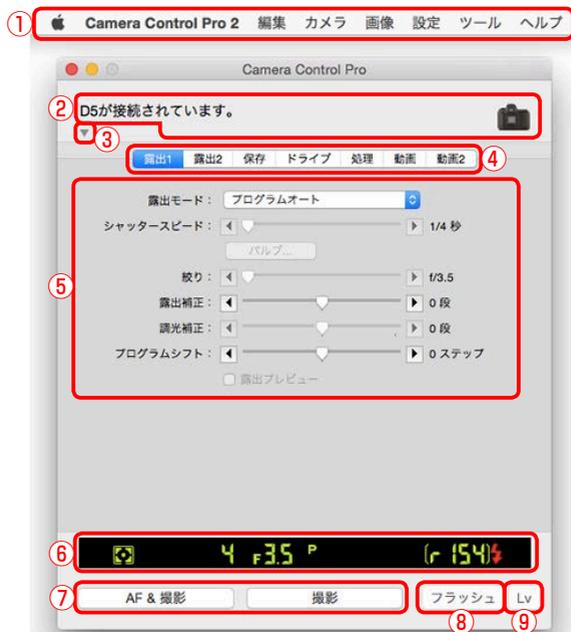
表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。[ツール] メニューの [カメラコントロールパネルを隠す] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。[カメラコントロールパネルを表示] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

Camera Control Pro の画面構成

2/2

Mac



- ① **メニューバー**
- ② **接続表示**: カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。
- ③ **表示切り換えボタン** ▼ / ▶: パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。
- ④ **パネル選択用タブ**: クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。
- ⑤ **Camera Control Pro パネル**: カメラ側の各種設定を行うことができます。
- ⑥ **LCD 領域**: カメラの「ファインダー内表示」や液晶モニターと同様の情報が表示されています。
- ⑦ **撮影ボタン**: カメラのシャッターボタンと同様の機能です。[ショートカットキー](#)を割り当てることもできます。
- ⑧ **フラッシュボタン**: [フラッシュ発光] ウィンドウが表示されます。接続したカメラの静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] が選択可能な場合に有効になります (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)。
- ⑨ **ライブビュー起動ボタン**: [ライブビュー] ウィンドウの表示・ライブビューの開始を行います。

表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。[ツール] メニューの [カメラコントロールパネルを隠す] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。[カメラコントロールパネルを表示] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 1/7

Camera Control Pro を起動した状態で撮影を行うと、撮影した画像はカメラ内のメモリーカードには記録されず（カード同時記録対応カメラを除く）、パソコンのハードディスクに保存されます。

撮影するには、次の2通りの方法があります。

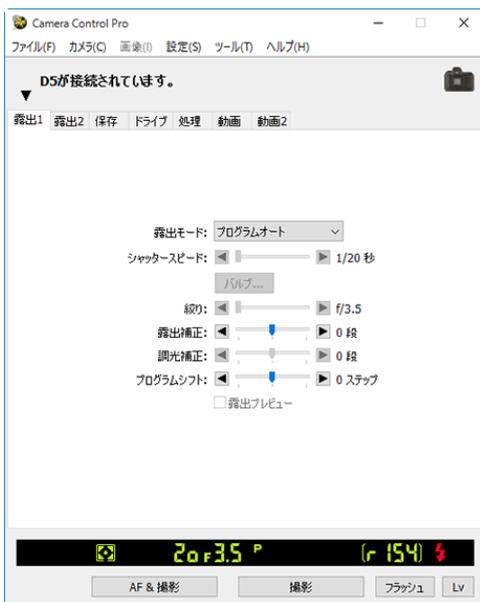
パソコンから撮影する	[Camera Control Pro] ウィンドウの [AF & 撮影] / [撮影] ボタンを使うと、パソコンから撮影できます。
カメラ本体で直接撮影する	[カメラ] メニューで [カメラ本体のコントロールを有効にする] にチェックを入れると、カメラ本体で撮影できます。

カード同時記録対応カメラの場合 (D5/D4 シリーズ /D3S/D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3)

撮影した画像を、パソコンのハードディスクまたはカメラのスロットに挿入したメモリーカードに記録できます。パソコンとメモリーカード両方に記録することもできます。

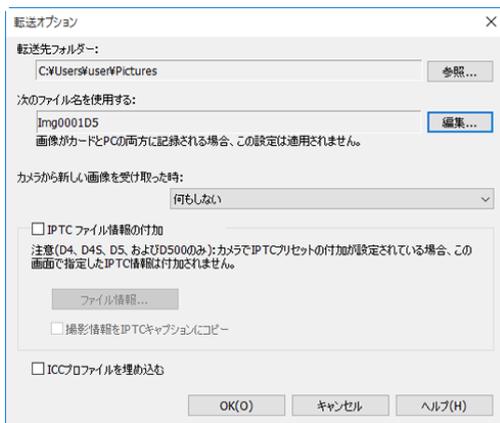
詳しくは [\[画像記録先\]](#) をご覧ください。

- 1 Camera Control Pro を起動します。Nikon 1 V3 を接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ (ライブビュー画面) も自動的に表示されます。



これから撮影する画像をハードディスクに保存する 2/7

- 2 [ツール] メニューの [転送オプション...] を選択します。
次のような [転送オプション] ダイアログが表示されます。



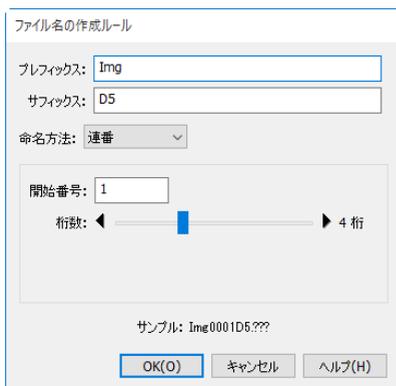
- 3 撮影画像の保存先、ファイル名、転送後の操作、ファイル情報の設定を行います。

[転送先フォルダー]

保存先フォルダー名が表示されます。フォルダーを変更する場合は、[参照] (Macでは[選択]) ボタンをクリックして、撮影した画像を保存するフォルダを指定します。

[次のファイル名を使用する]

保存するファイル名が表示されます。ファイル名を変更する場合は、[編集] ボタンをクリックします。[ファイル名の作成ルール] ダイアログが表示されます。



[ステップ3次ページへ続く](#)



これから撮影する画像をハードディスクに保存する 3/7

ファイル名は「プレフィックス + 識別子 + サフィックス + 拡張子」で構成されます。変更したファイル名は、画面下の [サンプル] で確認できます。

サンプル: **Img0001D5.???**

プレフィックス 識別子 サフィックス 拡張子

拡張子について

変更するファイル名には、自動的に以下の拡張子が付きます。

JPEG 画像	.JPG
TIFF 画像	.TIF
RAW 画像	.NEF
イメージダストオフデータ	.NDF

[プレフィックス]	ファイル名の先頭に使用したい文字を入力できます。
[サフィックス]	ファイル名の末尾に使用したい文字を入力できます。
[命名方法]	識別子の付け方を [連番]、[日付]、[日付と時間] から選択できます。連番の場合は開始番号と桁数 (2 ~ 8 桁) を設定できます。

ファイル名を変更してから [OK] ボタンをクリックすると、[転送オプション] ダイアログに戻ります。

[ステップ3次ページへ続く](#) ➡

ファイル名の制限事項について

ファイル名を指定する際には、次のことに留意してください。

Windows

ファイル名には、「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「|」は使用できません。「.」は、ファイル名の先頭または末尾では使用できません。ファイル名は半角で 100 文字 (全角で 50 文字) 以内になるように指定してください。

Mac

ファイル名は 20 文字 (半角・全角とも) 以内になるように指定してください。また、ファイル名で「:」は使用できません。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 4/7

【画像記録先】が**【PC+ カード】**または**【カード】**に設定されている場合
**(D5/D4 シリーズ /D3S/D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/
 D500/D7500/D7200/D7100/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/
 Df/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3)**

【保存】パネルの **【画像記録先】** が **【PC+ カード】** または **【カード】** の場合、【次のファイル名を使用する】で設定したファイル名は適用されません。また、**【PC+ カード】** の場合、パソコンに保存するファイル名はメモリーカードに記録するファイル名と同じになります。ただし、既存のファイルとファイル名が重複する場合は、アンダーバーと4桁の連番が自動的に追加されます。

【カメラから新しい画像を受け取った時】

カメラから新しい画像を受け取ったときの動作を設定できます。

<p>【何もしない】</p>	<p>撮影した画像を直接ハードディスクに保存します。</p>
<p>【ViewNX-i に表示する】 【ViewNX 2 に表示する】 (ViewNX-i または ViewNX 2 が インストールされている 場合に表示)</p>	<p>撮影した画像をハードディスクに保存した後、ViewNX-i または ViewNX 2 が自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。ViewNX-i または ViewNX 2 の使用方法についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。ViewNX-i または ViewNX 2 は最新のバージョンをお使いください。</p>
<p>【Capture NX 2 の監視フォルダに保存する】 (Capture NX 2 で監視フォルダが設定されている場合に表示)</p>	<p>別売の Capture NX 2 の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存されます。保存された画像は、Capture NX 2 であらかじめ設定していた自動保存処理（バッチ処理）が適用されます。この機能を使用する場合は、監視フォルダが設定されている Capture NX 2 を起動してください。監視フォルダの機能については、それぞれの使用説明書をご覧ください。接続したカメラが Capture NX 2 に対応しているかどうかは、それぞれの使用説明書をご覧ください。</p>

[ステップ3次ページへ続く](#) 

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 5/7

[IPTC ファイル情報の付加]

チェックボックスをオン にすると、転送する画像ファイルに [ファイル情報] ダイアログで設定した情報を付加します。また、このチェックボックスをオン にすると、[ファイル情報] ボタンと [撮影情報を IPTC キャプションにコピー] チェックボックスが使えるようになります。

D5、D4 シリーズ、D500 の場合、カメラ本体の「セットアップメニュー」> 「IPTC」> 「撮影時自動付加」を ON にしている場合は、カメラで設定した IPTC が使用されます。チェックボックスをオン にしても、Camera Control Pro で設定した IPTC ファイル情報は付加されません。

[ファイル情報] ボタン

キャプション、キーワードなどのファイル情報の読み込みと保存を行うことのできる [ファイル情報] ダイアログを表示します。

[撮影情報を IPTC キャプションにコピー]

チェックボックスをオン にすると、Camera Control Pro で撮影した画像の撮影情報がファイル情報のキャプションにコピーされます。

[ICC プロファイルを埋め込む]

チェックボックスをオン にすると、撮影した画像が JPEG または TIFF の場合に、カメラで設定した色空間の ICC プロファイルを埋め込んだ状態で転送します。

4 設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。[転送オプション] ダイアログで設定した内容が確定されます。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 6/7

画像真正性検証機能が ON に設定されている場合 (D3 シリーズ /D700/D300 シリーズ)

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、[IPTC ファイル情報の付加] チェックボックスをオン にしても、画像の保存時に IPTC ファイル情報は付加されません。また、[ICC プロファイルを埋め込む] のチェックボックスをオン にしても、ICC プロファイルは画像に埋め込まれません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。
- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、[画像を反時計方向に 90 度回転] または [画像を時計方向に 90 度回転] をチェックしても、縦横位置情報は付加されません。

[画像記録先] が [PC+ カード] または [カード] に設定されている場合 (D5/D4 シリーズ /D3S/D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Z 7/Z 6/ Nikon 1 V3)

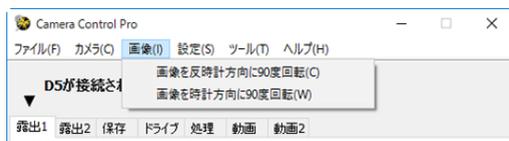
メモリーカードに記録される画像には IPTC ファイル情報、ICC プロファイルは埋め込まれません。

画像の回転について

[縦横位置情報の記録] が設定できるカメラの場合、カメラ側ですでに記録する設定 (ON) になっていると、[画像] メニューで縦横位置情報の設定を行うことはできません。ライブビューモードをサポートするカメラの場合、[ライブビュー] ウィンドウで設定が可能です。

[縦横位置情報の記録] に対応していないカメラでも、カメラの向きに合わせて、撮影する画像に縦横位置情報を付加することができます。カメラを縦位置にして撮影する場合に便利です。縦横位置情報を付加すると、縦横位置情報を反映できるニコン製のソフトウェアで画像を開くときに、自動的に回転して表示されます。

画像を回転する場合は、[画像] メニューから [画像を反時計方向に 90 度回転] または [画像を時計方向に 90 度回転] を選択します。選択したメニュー項目にはチェックが付けられます。チェックの付いたメニュー項目を再度選択すると、チェックが外れます。チェックを外すと、縦横位置情報を付加しません。カメラの向きにかかわらず、撮影する画像の向きは横位置となります。



連写時の画像の回転について (D300/D90/D5100/D5000)

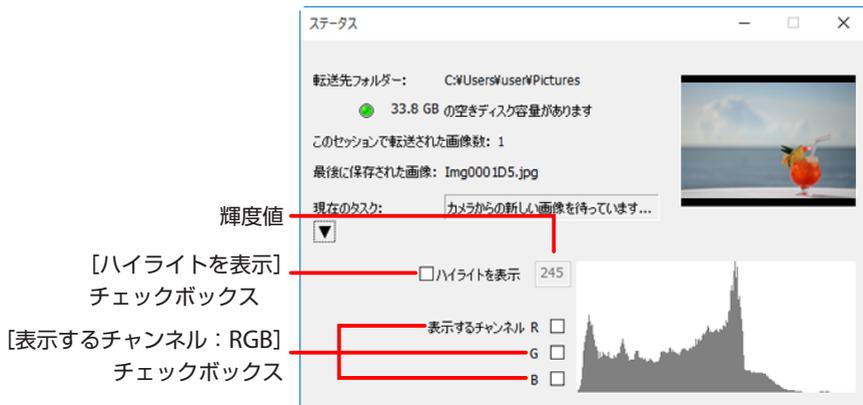
カメラの動作モードによっては、連写時の画像の回転方向が連写の 1 番目の画像の向きに固定されます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 7/7

- 5 [Camera Control Pro] ウィンドウの [AF & 撮影] / [撮影] ボタンまたはカメラのシャッターボタンを押して撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す [ステータス] ダイアログが起動します。



[ステータス] ダイアログの下の部分に表示されている切り換えボタン  をクリックすると、最後に撮影された画像のおおよそのヒストグラムが表示されます。



[ハイライトを表示] チェックボックスをオン にすると、[ステータス] ダイアログ上の画像のテキストボックスに入力した輝度値を超えた部分が黒く点滅してハイライト * 表示されます。

* ハイライトとは、画像の中の非常に明るい部分です。露出補正などで画像の明るさを調整する際に、点滅しているハイライト部分を目安にしてください。

[表示するチャンネル: RGB] の各チェックボックスをオン にすることにより、赤、緑、青のチャンネルごとの個別ヒストグラム * も表示することができます。

* ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は画像の明るさ、明るさごとのピクセル数を示しています。

撮影した画像を確認する

[\[転送オプション\] ダイアログ](#)の[\[カメラから新しい画像を受け取った時\]](#)で [ViewNX-i に表示する] または [ViewNX 2 に表示する] を選択すると、画像を撮影してハードディスクに保存した後、選択したアプリケーションが起動して、撮影した画像を表示します。このとき、[\[転送オプション\] ダイアログ](#)の[\[転送先フォルダー\]](#) で設定されたフォルダ内の画像を表示します。

ViewNX-i または ViewNX 2 の使用方法についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。ViewNX-i または ViewNX 2 は最新のバージョンをご使用ください。

ViewNX-i または ViewNX 2 ですぐに画像を確認したい場合

ViewNX-i または ViewNX 2 の [ファイル] メニューで、[撮影した画像を直ちに表示] をチェックすると、Camera Control Pro で撮影するたびに最新の画像が画像表示エリアに表示されます。

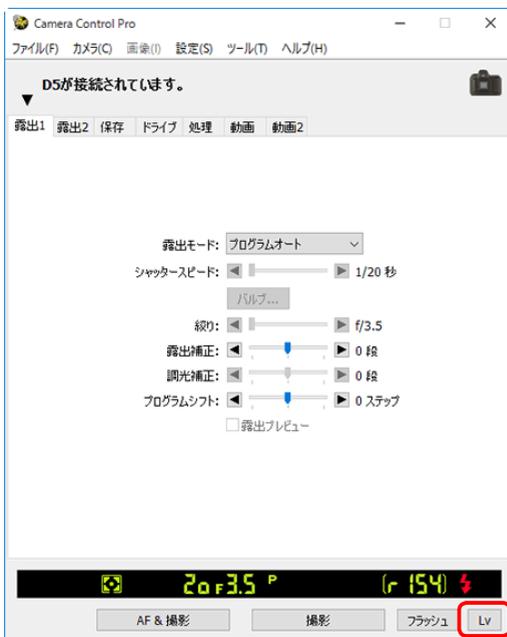
ライブビュー画面で撮影する

1/21

ライブビュー画面（デジタル一眼レフカメラ）

ライブビュー撮影が可能なカメラを接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ（ライブビュー画面）で被写体を見ながら撮影できます。

1 [Lv] ボタンをクリックします。



ライブビュー開始時の露出モードについて（D750/D610/D600/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/D5200）

[露出モード] の設定が [プログラムオート]、[絞り優先オート]、[シャッター優先オート]、[マニュアル] 以外の場合、ライブビュー撮影は開始されません。

ライブビュー画面で撮影する

2/21

- 2** [ライブビュー] ウィンドウが表示されます。[ライブビュー] ウィンドウは、接続したカメラによって異なります。

ライブビュー撮影時のご注意 (D850 以外)

[ライブビュー] ウィンドウが表示されている場合、カメラ本体側での操作はできません。

- 3** 各カメラの [ライブビュー] ウィンドウの説明を参照して、使用したい項目を設定します。
詳しくは「[D3 シリーズ/D700/D300 シリーズのライブビュー\(手持ち撮影\)](#)」、「[D3 シリーズ/D700/D300 シリーズのライブビュー \(三脚撮影\)](#)」、「[D90/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Df のライブビュー](#)」または「[D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100 のライブビュー](#)」をご覧ください。

- 4** [撮影] ボタンまたは [AF & 撮影] ボタンをクリックして撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す [\[ステータス\] ダイアログ](#) が起動します。

- 5** ライブビュー撮影を終了するには、[ライブビュー] ウィンドウの [Lv] ボタンをクリックします。ライブビュー撮影を再開したい場合は、再度 [Lv] ボタンをクリックします。

ライブビュー撮影中にカメラとの接続が切れた場合

カメラとの接続が切れた場合、[ライブビュー] ウィンドウは自動的に閉じられます。

カメラのライブビューボタンの操作について (D850)

環境設定の [\[ライブビュー\]](#) パネルの設定によって、カメラ本体のライブビューボタンを押してライブビュー撮影を開始または終了させることもできます。

ライブビュー画面で撮影する

3/21

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー（手持ち撮影）



①	ライブビュー 画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。
②	拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	表示倍率選択	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	「拡大して画面にあわせる」	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、プレビュー画像は常に「ライブビュー」ウィンドウのサイズに合わせて表示されます。
⑤	手動回転ボタン	3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑥	「自動回転」	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。
⑦	ライブビューモード 選択	ライブビューモードの切り替えを行います。
⑧	「フォーカスポイント」	各ボタンの方向に現在のフォーカスポイントを移動できます。
⑨	「AF」 ボタン	通常のオートフォーカスによるピント合わせと測光を行います。

ライブビュー画面で撮影する

4/21

⑩ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑪ AF エリア表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に AF エリアが表示されます。
⑫ 水準器表示ボタン (D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) / D3X/D3S/D700/D300S)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑬ ハイライト表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示します。  を押して斜線の向きを変更できます。
⑭ [撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑮ [AF& 撮影] ボタン	通常のオートフォーカスを行った後、撮影します。
⑯ [Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

ライブビュー画面で撮影する

5/21

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー（三脚撮影）



①	ライブビュー 画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。
②	拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	表示倍率選択	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	【拡大して画面にあわせる】	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、プレビュー画像は常に【ライブビュー】ウィンドウのサイズに合わせて表示されます。
⑤	手動回転ボタン	3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑥	【自動回転】	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。
⑦	ライブビューモード 選択	ライブビューモードの切り替えを行います。
⑧	【フォーカス調整】	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。

ライブビュー画面で撮影する

6/21

⑨ [AF] ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑩ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑪ 水準器表示ボタン (D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) / D3X/D3S/D700/D300S)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑫ ハイライト表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示します。  を押して斜線の向きを変更できます。
⑬ [撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑭ [AF& 撮影] ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑮ [Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

ライブビュー画面で撮影する

7/21

D90/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Df のライブビュー



<p>① ライブビュー 画像表示エリア</p>	<p>カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AFモードが顔認識 AF の場合は、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。</p>
<p>② 拡大エリア表示領域</p>	<p>ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。</p>
<p>③ 表示倍率選択</p>	<p>ライブビュー画像の拡大率を選択できます。</p>
<p>④ [拡大して画面にあわせる]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、プレビュー画像は常に [ライブビュー] ウィンドウのサイズに合わせて表示されます。</p>
<p>⑤ 手動回転ボタン</p>	<p>3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。</p>
<p>⑥ [自動回転]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。</p>

ライブビュー画面で撮影する

8/21

⑦ フォーカスモード (D7000/D5600/ D5500/D5300/ D5200/D5100/Df)	ライブビュー中または動画撮影時のフォーカスモードの切り替えを行います。D7000 または D5100 の場合、AF-F (常時 AF サーボ) でライブビュー中に手動でレンズのフォーカスリングを回転させると、自動的に MF (マニュアルフォーカス) になります。再度 AF-F でライブビュー撮影をしたい場合は、ライブビューを再起動してください。
⑧ AF エリアモード選択	ライブビュー中の AF エリアモードの切り替えを行います。
⑨ [フォーカス調整]	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。
⑩ [AF] ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑪ スポットホワイトバランスボタン (Df)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像表示エリアに表示中の被写体の一部分をクリックして、プリセットマニュアルデータを取得できます (スポットホワイトバランス)。
⑫ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑬ 水準器表示ボタン (D7000/Df)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑭ ハイライト表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示します。  を押して斜線の向きを変更できます。
⑮ [撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑯ [AF& 撮影] ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑰ [Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

ライブビュー画面で撮影する

9/21

<p>⑱ REC ボタン (D7000/D5600/ D5500/D5300/ D5200/D5100)</p>	<p>動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。 再度クリックすると、動画撮影を停止します。</p>
<p>⑲ 動画記録残り時間 (D7000/D5600/ D5500/D5300/ D5200/D5100)</p>	<p>動画撮影可能な残り時間を表示します。</p>
<p>⑳ 音声レベル インジケーター (D5600/D5500/ D5300/D5200)</p>	<p>動画ライブビュー中または動画記録中時の音声レベルを表示 します。</p>

ライブビュー画面で撮影する

10/21

D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/
D7500/D7200/D7100 のライブビュー

<p>① ライブビュー 画像表示エリア</p>	<p>カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AFモードが顔認識 AF の場合は、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。</p>
<p>② 拡大エリア表示領域</p>	<p>ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。</p>
<p>③ 表示倍率選択</p>	<p>ライブビュー画像の拡大率を選択できます。</p>
<p>④ [拡大して画面にあわせる]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、プレビュー画像は常に [ライブビュー] ウィンドウのサイズに合わせて表示されます。</p>
<p>⑤ 手動回転ボタン</p>	<p>3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。</p>
<p>⑥ [自動回転]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに依ってライブビュー画面が自動的に回転します。</p>
<p>⑦ フォーカスモード</p>	<p>ライブビュー中または動画撮影時のフォーカスモード設定の切り替えを行います。</p>

ライブビュー画面で撮影する

11/21

⑧ AF エリアモード選択	ライブビュー中の AF エリアモードの切り替えを行います。
⑨ [フォーカス調整]	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。
⑩ [AF] ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑪ スポットホワイトバランスボタン (D5/D4S/D850/D810/D810A/D750/D500/D7500/D7200/D7100)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像表示エリアに表示中の被写体の一部分をクリックして、プリセットマニュアルデータを取得できます (スポットホワイトバランス)。
⑫ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑬ 水準器表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑭ ハイライト表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示します。  を押して斜線の向きを変更できます。
⑮ [撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑯ [AF& 撮影] ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑰ [ライブビューセレクター] ボタン	「静止画ライブビュー」または「動画ライブビュー」のいずれかを選択できます。D4 の場合、 [カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているとき、またはライブビュー中は選択できません。
⑱ [Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。
⑲ REC ボタン	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。
⑳ 動画記録残り時間	動画撮影可能な残り時間を表示します。

ライブビュー画面で撮影する

12/21

<p>① 外部レコーダー (D850)</p>	<p>[カメラ] メニューで [HDMI 外部記録を制御する] のチェックをオンにすると、HDMI ケーブルでカメラと市販の外部レコーダーを接続している場合に、外部レコーダーの状態を表示します。動画ライブビュー中は STBY、動画記録中は REC が表示されます。</p>
<p>② 音声レベルインジケータ</p>	<p>動画ライブビュー中または動画記録中時の音声レベルを表示します。</p>

ライブビュー画面でのオートフォーカスについて(D3シリーズ / D700 / D300シリーズのライブビュー (手持ち撮影) 以外)

[AF] ボタンをクリックした場合と同様に、ライブビュー画面をダブルクリックした場合もコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、ライブビュー画面をダブルクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。

ライブビュー撮影時のご注意

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、[ライブビュー] ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、[ライブビュー] ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。その他のライブビュー撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

ライブビュー動作中の制限事項について

ライブビュー動作中はご使用のカメラのモードによっては、操作できない項目があります。その場合は、ライブビューを一度停止してから操作してください。

カメラで設定を変更した場合 (D850)

[カメラ] メニューで [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) にチェックを入れ、ライブビュー撮影時にカメラの画像モニターを点灯させると、カメラを操作して設定を変更できます。変更した設定は、Camera Control Pro にも反映されます。機能によっては、Camera Control Pro 接続時には設定を変更できないものもあります。カメラの画像モニターの点灯方法は、環境設定の [\[ライブビュー\] パネル](#) で設定できます。

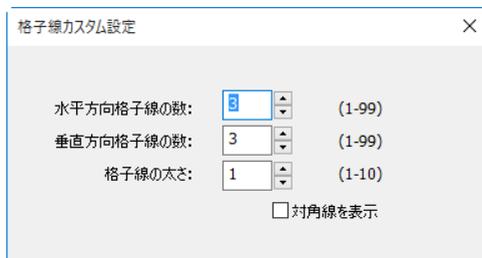
ライブビュー画面で撮影する

13/21

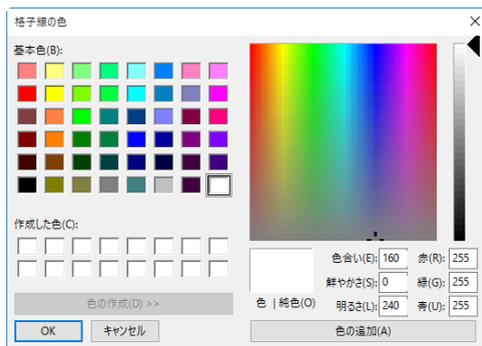
格子線の設定について

格子線表示ボタンの ▼ を押しと、格子線の設定を変更できます。

- ・ [カメラと同じ] (D5 / D4 シリーズ) : カメラの撮像範囲の設定によって、格子線の表示が異なります。
- ・ [3 × 3 表示] : 水平方向、並行方向に 3 本ずつ格子線を表示します。
- ・ [カスタム設定] : 格子線の数と太さを設定するダイアログが表示されます。



- ・ [格子線の色] : 格子線の色を設定するダイアログが表示されます。



動画撮影について

以下の場合、動画撮影を停止します。

- ・ 動画撮影中に REC ボタンを押した場合
- ・ カメラを操作してライブビューを終了した場合
- ・ 自動的にライブビューが終了した場合
- ・ 動画記録残り時間が終了した場合
- ・ メモリーカードの容量が不足した場合

動画撮影中のフレーム保存について (D5 / D4 シリーズ)

カメラのカスタムメニューで動画撮影時のシャッターボタンの機能を [動画撮影中のフレーム保存] に設定している場合、[撮影] ボタンが有効になります。[撮影] ボタンをクリックすると、動画と同じサイズ (ピクセル) の静止画が撮影されます。画質モードは JPEG FINE になります。撮影できる枚数は最大 50 枚です。

ライブビュー画面で撮影する

14/21

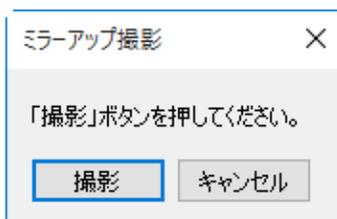
スポットホワイトバランスについて

以下の場合、スポットホワイトバランスはオンにできません。

- ・ [\[ホワイトバランス\]](#) でプリセットマニュアル以外が選択されている時
- ・ [HDR モード] を [しない] 以外に設定した場合
- ・ 選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている時
- ・ 動画記録時

ミラーアップ撮影について (D5 / D850 / D810A / D500 / D7500)

- ・ カメラのレリーズモードをミラーアップに設定すると、[AF& 撮影] ボタンが [AF& ミラーアップ撮影] ボタンに、[撮影] ボタンが [ミラーアップ撮影] ボタンに変わります。[AF& ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、自動的に一度ピントを合わせてからミラーアップ撮影します。[ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、クリックと同時にミラーアップ撮影します。
- ・ カメラの内蔵フラッシュが上がっている場合、または別売のスピードライトを装着している場合、[AF& ミラーアップ撮影] ボタンまたは [ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、[ミラーアップ撮影] ダイアログが表示されます。[撮影] ボタンをクリックすると、撮影してミラーダウンします。



ライブビュー画面で撮影する

15/21

ライブビュー画面 (Z7/Z6)

Z7、Z6を接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ (ライブビュー画面) が自動的に表示され、被写体を見ながら撮影できます。



① ライブビュー 画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AFモードが顔認識 AF の場合は、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。
② 拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③ 表示倍率選択	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④ [拡大して画面に あわせる]	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、プレビュー画像は常に [ライブビュー] ウィンドウのサイズに合わせて表示されます。
⑤ 手動回転ボタン	3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑥ [自動回転]	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。

ライブビュー画面で撮影する

16/21

⑦	フォーカスモード	ライブビュー中または動画撮影時のフォーカスモード設定の切り替えを行います。
⑧	AF エリアモード選択	ライブビュー中の AF エリアモードの切り替えを行います。
⑨	[ターゲット解除] ボタン	AF エリアモードが [オートエリア AF] に設定されている場合、カメラが自動的に被写体を判別してピントを合わせているときにクリックすると、ピント合わせを解除します。ターゲット追尾中は追尾動作を終了します。AF エリアモードが [オートエリア AF] の場合のみ表示されます。
⑩	[フォーカス調整]	[+] / [-] ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。[+] をクリックすると無限遠側、[-] をクリックすると近接側に調整できます。
⑪	[AF] ボタン	クリックと同時にハイブリッド AF (位相差 AF/ コントラスト AF) によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑫	スポットホワイトバランスボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像表示エリアに表示中の被写体の一部分をクリックして、プリセットマニュアルデータを取得できます (スポットホワイトバランス)。
⑬	格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑭	水準器表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑮	ハイライト表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示します。  を押して斜線の向きを変更できます。
⑯	[撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑰	[AF& 撮影] ボタン	ハイブリッド AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑱	[ライブビューセクター] ボタン	「静止画ライブビュー」または「動画ライブビュー」のいずれかを選択できます。 [カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは選択できません。
⑲	[Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

ライブビュー画面で撮影する

17/21

⑳	REC ボタン	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。
㉑	動画記録残り時間	動画撮影可能な残り時間を表示します。
㉒	タイムコード	[タイムコードの記録] を有効にしている場合、タイムコードを表示します。 [ドロップフレーム] の設定によって表示が異なります。
㉓	音声レベルインジケータ	動画ライブビュー中または動画記録中時の音声レベルを表示します。

ライブビュー画面でのオートフォーカスについて

[AF] ボタンをクリックした場合と同様に、ライブビュー画面をダブルクリックした場合もハイブリッド AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、ライブビュー画面をダブルクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。

ライブビュー撮影時のご注意

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、[ライブビュー] ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、[ライブビュー] ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。その他のライブビュー撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

ライブビュー動作中の制限事項について

ライブビュー動作中はご使用のカメラのモードによっては、操作できない項目があります。その場合は、ライブビューを一度停止してから操作してください。

カメラで設定を変更する場合

[カメラ] メニューで [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) にチェックを入れていると、カメラ本体と Camera Control Pro の両方でカメラを操作することができます。一部の機能やカメラの状態によっては、Camera Control Pro またはカメラの操作で設定を変更できないものもあります。

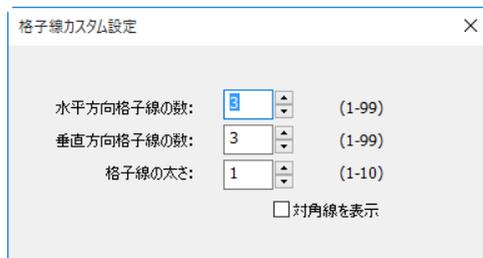
格子線の設定について

格子線表示ボタンの  を押すと、格子線の設定を変更できます。

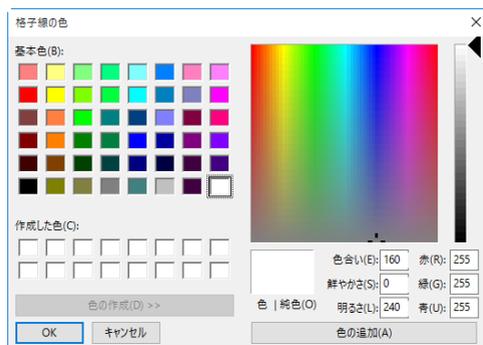
- ・ [3 × 3 表示] : 水平方向、並行方向に 3 本ずつ格子線を表示します。
- ・ [カスタム設定] : 格子線の数と太さを設定するダイアログが表示されます。

ライブビュー画面で撮影する

18/21



- ・ [格子線の色]：格子線の色を設定するダイアログが表示されます。



動画撮影について

以下の場合、動画撮影を停止します。

- ・ 動画撮影中に REC ボタンを押した場合
- ・ カメラを操作してライブビューを終了した場合
- ・ 自動的にライブビューが終了した場合
- ・ 動画記録残り時間が終了した場合
- ・ メモリーカードの容量が不足した場合

スポットホワイトバランスについて

以下の場合、スポットホワイトバランスはオンにできません。

- ・ 静止画ライブビューにしている場合、または動画ライブビュー時にカメラのカスタムメニューで動画撮影時のシャッターボタンの機能を動画撮影に設定している場合
- ・ [カメラ] メニューの [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) がチェックされている場合
- ・ [\[ホワイトバランス\]](#) でプリセットマニュアル以外が選択されている場合
- ・ 選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている場合
- ・ [HDR モード] を [しない] 以外に設定した場合

ライブビュー画面で撮影する

19/21

ライブビュー画面 (Nikon 1 V3)

Nikon 1 V3 を接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ (ライブビュー画面) が自動的に表示され、被写体を見ながら撮影できます。



<p>① 画像表示エリア</p>	<p>カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます (ライブビュー)。カメラの AF エリアモードがシングルポイントの場合は、画像上に現在のフォーカスポイント (■) が白枠で表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AF エリアモードがオートエリアの場合は、フォーカスポイントは表示されません。【ドライブ】パネルで[顔認識]チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。</p>
<p>② [拡大して画面にあわせる]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、プレビュー画像は常に [ライブビュー] ウィンドウのサイズに合わせて表示されます。</p>
<p>③ 手動回転ボタン</p>	<p>3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。</p>
<p>④ [自動回転]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。</p>

ライブビュー画面で撮影する

20/21

⑤ 【フォーカス調整】	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。
⑥ 【AF】 ボタン	クリックと同時にハイブリッド AF（位相差 AF/ コントラスト AF）によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑦ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑧ 水準器表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑨ ハイライト表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示します。  を押して斜線の向きを変更できます。
⑩ 【撮影】 ボタン	ハイブリッド AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑪ 【ライブビューセレクトター】 ボタン	「静止画ライブビュー」または「動画ライブビュー」のいずれかを選択できます。
⑫ 【Lv】 ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。
⑬ REC ボタン	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。
⑭ 動画記録残り時間	動画撮影可能な残り時間を表示します。

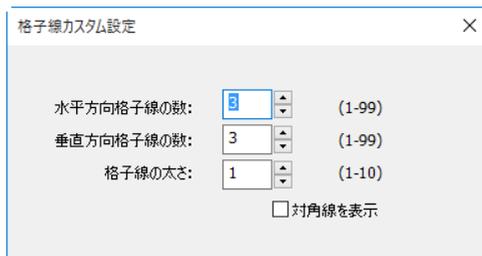
ライブビュー画面で撮影する

21/21

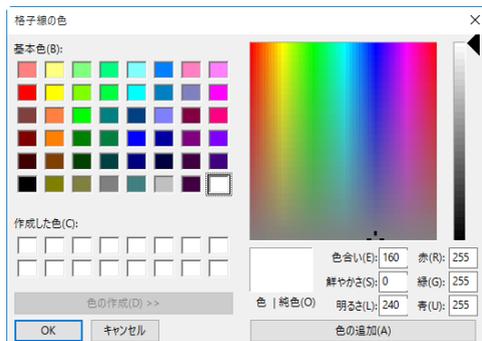
格子線の設定について

格子線表示ボタンの ▼ を押すと、格子線の設定を変更できます。

- ・ [3 × 3 表示] : 水平方向、並行方向に 3 本ずつ格子線を表示します。
- ・ [カスタム設定] : 格子線の数と太さを設定するダイアログが表示されます。



- ・ [格子線の色] : 格子線の色を設定するダイアログが表示されます。



動画撮影について

以下の場合、動画撮影を停止します。

- ・ 動画撮影中に REC ボタンを押した場合
- ・ 動画記録残り時間が終了した場合
- ・ メモリーカードの容量が不足した場合

ライブビュー停止中の制限事項について

プレビュー停止中は、操作できない項目があります。その場合は、ライブビューを開始してから操作してください。

お気に入りフォト選択について (Nikon 1 V3)

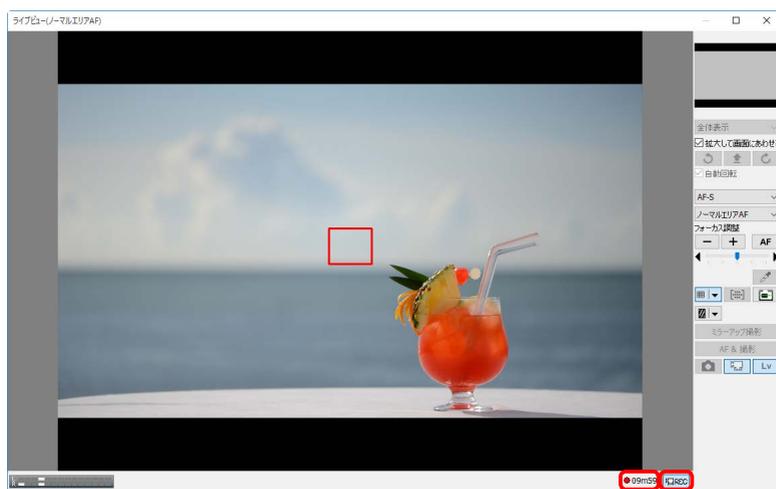
[\[ベストモーメントキャプチャー\]](#) を [お気に入りフォト選択] に設定すると、[撮影] ボタンが [先取り撮影開始] ボタンに変わります。クリックすると先取り撮影を開始し、[撮影] ボタンに変更されます。[撮影] ボタンをクリックすると、40 枚の静止画を撮影します。

動画撮影

1/2

Camera Control Pro の動画撮影に対応したカメラを接続した場合、[ライブビュー]ウィンドウで音声付きの動画を撮影できます。カメラにメモリーカードが挿入されていない場合、動画は撮影できません。必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。

[「D90/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Df のライブビュー」](#)、[「D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/ D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100 のライブビュー」](#)、[「ライブビュー画面 \(Z 7/Z 6\)」](#)または[「ライブビュー画面 \(Nikon 1 V3\)」](#)と [【動画】 パネル](#)で動画の設定を行ってください。



REC ボタンをクリックすると動画撮影が開始されます。[ライブビューセレクター] ボタンが表示されるカメラを接続している場合は「動画ライブビュー」を選択すると REC ボタンが有効になります。ライブビュー画面の右下に表示される、動画記録残り時間が減り始めます。メモリーカードが挿入されていない場合、警告が表示され、撮影は行われません。

動画撮影を停止する場合は、再度 REC ボタンをクリックします。

ライブビュー残り時間表示について

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、[ライブビュー] ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、[ライブビュー] ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。

動画撮影時のご注意

動画記録残り時間が終了するか、メモリーカードの容量が不足すると動画撮影は自動的に停止します。その他の動画撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

動画撮影

2/2

動画をパソコンに転送するには

[\[動画\] パネル](#)で [撮影後、動画ファイルを PC に転送する] チェックボックスをオン にすると、撮影後に動画ファイルをパソコンに転送します。オフ にしている場合、動画ファイルはメモリーカードにのみ保存されます。

動画撮影中の静止画撮影について (Nikon 1 V3)

Nikon 1 V3 を接続している場合、動画撮影中も [撮影] ボタンをクリックして静止画を 20 枚まで撮影できます。

- 画像サイズは [\[動画\] パネル](#)の [動画の画質] の設定により異なります。
- 画質モードは JPEG FINE になります。
- [動画モード] で [スローモーション] を選択している場合は、静止画を撮影できません。
- 撮影した静止画は常にメモリーカードに保存されます。[\[動画\] パネル](#)で [撮影後、動画ファイルを PC に転送する] チェックボックスをオン にすると、動画ファイルをパソコンに転送する時に静止画も一緒に転送します。

インターバルタイマー撮影

1/5

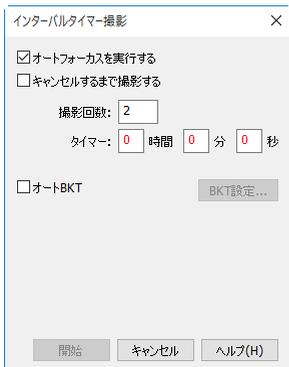
インターバルタイマー撮影とは、一定間隔で複数枚を連続撮影することです。タイマーを設定し、自動で撮影することが可能です。

ご注意：

以下の場合、インターバルタイマー撮影はできません。

- 画像の転送時
- ライブビュー撮影時（Z 7/Z 6/Nikon 1 V3 以外）
- 動画記録時
- [HDR モード] を [する（1 回）]（D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/Df/Z 7/Z 6）、または有効（D5600/D5500/D5300/D5200/D5100）に設定している時
- [露出 1] パネルの [シャッタースピード] を [Time] に設定している時（D5/D4S/D850/D810/D810A/D750/D500/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/Df/Z 7/Z 6）
- [露出 1] パネルの [ベストモーメントキャプチャー] を [お気に入りフォト選択] に設定している時（Nikon 1 V3）
- [動画] パネルの [動画モード] を [スローモーション] に設定している時（Nikon 1 V3）

- 1 [カメラ] メニューの [インターバルタイマー撮影] を選択します。
[インターバルタイマー撮影] ダイアログが表示されます。



インターバルタイマー撮影

2/5

2 次の項目を設定します。

[オートフォーカスを実行する] (Nikon 1 V3 以外)

チェックボックスをオン にすると、撮影ごとにオートフォーカスを実行します。ただし、オフ の場合でも、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」、または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、オートフォーカスを実行します。

- ・シャッタースピードが Bulb の場合は表示されません。

[キャンセルするまで撮影する]

チェックボックスをオン にすると、インターバルタイマー撮影進行ダイアログの [撮影を終了] ボタンをクリックするまでインターバルタイマー撮影を行います。

[撮影回数]

連続撮影する回数を 2 ~ 9999 の範囲で入力します。[キャンセルするまで撮影する] チェックボックスがオン のときは入力できません。

[タイマー]

撮影間隔を 1 秒から 99 時間 59 分 59 秒の範囲で入力します。

[ステップ 2 次ページへ続く](#)

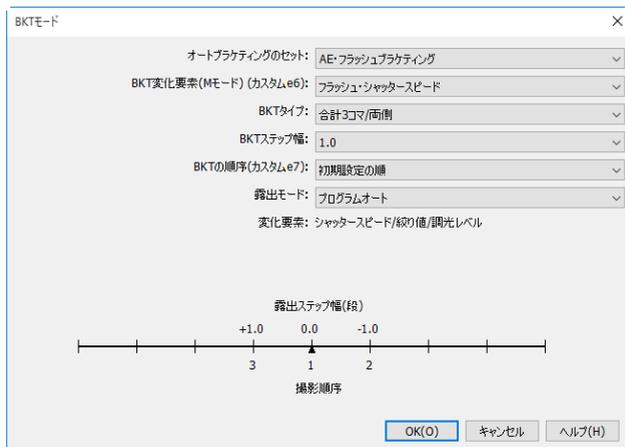


インターバルタイマー撮影

3/5

BKTモードの設定 (Nikon 1 V3 以外)

[オートBKT] チェックボックスをオン にすると、オートブラケティングが実行されます。[BKT 設定] ボタンをクリックすると、[BKT モード] ダイアログでブラケティングを設定できます。



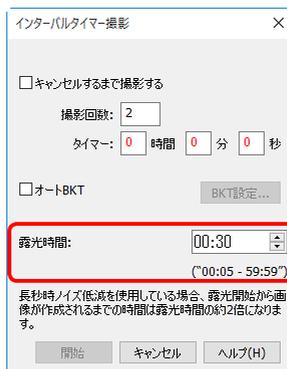
[オートブラケティングのセット]	オートブラケティングを行う場合のブラケティングの種類を設定します。
[BKT 変化要素 (M モード)] (D5/D4 シリーズ/D3 シリーズ/D850/D810/D810A/D800/D800E/D700/D500/D300 シリーズ/Df/Z 7/Z 6)	露出モードを [マニュアル] にセットして、AE・フラッシュブラケティング、または AE ブラケティングを行った場合の変化要素を設定します。
[BKT タイプ] (D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000 以外)	オートブラケティング時の撮影コマ数と補正範囲を設定します。
[BKT ステップ幅]	オートブラケティング時の補正ステップ幅を設定します。
[BKT の順序] (D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000 以外)	オートブラケティングの補正順序を設定します。
[露出モード]	露出モードを選択します。

インターバルタイマー撮影

4/5

露光時間の設定 (D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/D5200/Df/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3)

シャッタースピードが Bulb の場合は次のダイアログが表示され、露光時間も設定できます。



- 3** インターバルタイマー撮影を開始します。
- [開始] ボタンをクリックすると、インターバルタイマー撮影が始まります。
- 転送された画像に対しては、[\[転送オプション\] ダイアログ](#)の [\[カメラから新しい画像を受け取った時\]](#) で設定された動作が行われます。

- 4** インターバルタイマー撮影処理進行ダイアログが表示されます。
- インターバルタイマー撮影を中止するときは、[撮影を終了] ボタンをクリックします。



インターバルタイマー撮影

5/5

撮影間隔の設定について

実際のインターバルタイマー撮影には、タイマー時間、シャッター速度の時間、データ転送時間、Camera Control Proが処理を行う時間などが含まれます。そのため、設定した撮影間隔や画質モードと画像サイズによっては、設定した間隔で撮影できない場合があります。

重要

[インターバルタイマー撮影] ウィンドウを閉じるまで、[Camera Control Pro] ウィンドウは操作できません。

5 インターバルタイマー撮影が終了すると、[撮影を終了] ボタンが [撮影を完了] ボタンに変わります。[撮影を完了] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

インターバルタイマー撮影中のカメラ操作について

インターバルタイマー撮影中には、カメラの操作を行うことはできません。

警告ボタン

撮影時または処理中にエラーが発生した場合、[撮影を終了] (または [撮影を完了]) ボタンの隣に警告ボタン  が表示されます。警告ボタン  をクリックすると、警告メッセージが表示されます。指示に従い、[撮影を終了] (または [撮影を完了]) ボタンをクリックして、撮影を終了します。[エラーログ] ダイアログが開いて、発生したエラーのログが表示されます。[エラーログ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、[Camera Control Pro] ウィンドウに戻ります。

ハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は

撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、インターバルタイマー撮影処理進行ダイアログのディスク空き容量表示アイコンが、緑から黄色、赤に変わります。インターバルタイマー撮影を停止して、[保存先](#)を変更してください。

インターバルタイマー撮影

インターバルタイマー撮影モード時は、カメラの設定を変更できません

転送先フォルダー: C:\Users\user\Pictures
 33.7 GB の空きディスク容量があります

最後に保存した画像: Img0004D5.jpg

保存した画像: 3

撮影間隔: 00:00:03

Camera Control Pro の各機能

1/6

[Camera Control Pro] ウィンドウの各パネルには、現在カメラに設定されている値が表示されます。タブをクリックしてパネルを表示させ、設定内容を参照したり、変更することができます。各パネルの項目の内容は、この後の「[Camera Control Pro パネルの設定](#)」を参照してください。

接続表示

カメラの接続状況を表示します。



[カメラ名] 現在接続しているカメラ名を表示します。

[カメラの向き] アイコン

現在接続しているカメラの向きを表します。[水平]、[時計回りに 90° 回転]、[反時計回りに 90° 回転] の 3 種類のアイコンが表示されます。

カメラの [縦横位置情報の記録] が記録する設定 (ON) の場合のみ有効です。記録しない設定 (OFF) の場合は、[カメラの向き] アイコンは表示されません。



水平

時計回りに
90° 回転反時計回りに
90° 回転

Camera Control Pro の各機能

2/6

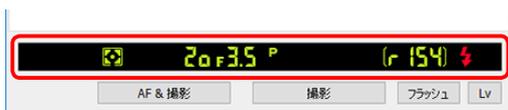
表示切り換えボタン ▼ / ▶

表示切り換えボタン ▼ / ▶ をクリックすると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。



LCD 領域

ウィンドウの下部にある LCD 領域には、カメラの「ファインダー内表示」または液晶モニターと同様の情報が表示されます。ただし、カメラのエラー情報が表示されないなどの若干の違いがあります。



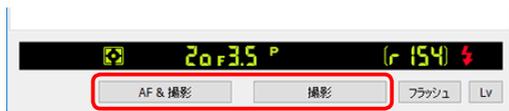
LCD 領域の右端にカメラのバッファの連続撮影可能コマ数が表示されます。Camera Control Pro は、定期的にカメラから連続撮影可能コマ数を取得して表示するため、カメラ本体に表示される実際の連続撮影可能コマ数との間に一時的にずれが生じる場合があります。

Camera Control Pro の各機能

3/6

撮影ボタン (Nikon 1 V3 以外)

現在のカメラ設定で、または設定内容を変更したあとで、以下のうちいずれかのボタンをクリックすると撮影できます。



【AF& 撮影】	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
【撮影】	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」、および「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

カメラのリリースモードを連続撮影に設定すると、【AF& 撮影】ボタンが【AF& 開始】ボタンに、【撮影】ボタンが【開始】ボタンに変わって、パソコンからの連続撮影が可能になります。連続撮影するコマ数は、[撮影コマ数](#)で設定できます。

【AF& 開始】	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
【開始】	クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」、または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

カメラのリリースモードをミラーアップに設定すると、【AF& 撮影】ボタンが【AF& ミラーアップ撮影】ボタンに、【撮影】ボタンが【ミラーアップ撮影】ボタンに変わります。

【AF& ミラーアップ撮影】	自動的に一度ピントを合わせてからミラーアップします。
【ミラーアップ撮影】	クリックと同時にミラーアップを開始します。

Camera Control Pro の各機能

4/6

撮影ボタン (Nikon 1 V3)

以下のボタンをクリックすると、ライブビューが開始されて撮影できます。表示されるボタンは、現在の設定により異なります。



【撮影】	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードで「マニュアルフォーカス」以外を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
【開始】	カメラのレリーズモードを連続撮影に設定すると表示され、クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードで「マニュアルフォーカス」以外を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
【先取り撮影開始】	【ベストモーメントキャプチャー】 を [お気に入りフォト選択] に設定すると表示されます。クリックすると先取り撮影を開始し、[撮影] ボタンに変更されます。[撮影] ボタンをクリックすると、40 枚の静止画を撮影します。

沈胴式レンズを装着した場合

沈胴式レンズを装着してレンズを繰り出していない場合、[撮影] ボタンを押しても警告メッセージが表示され、撮影できません。

フラッシュボタン (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

[フラッシュ] ボタンをクリックすると、[フラッシュ発光] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、[「フラッシュ発光」](#) を参照してください。[フラッシュ] ボタンは、接続したカメラの静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] が選択可能な場合に有効になります。カメラの静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] は、SB-5000 などサポート対象のスピードライトをアクセサリシューに装着するか、WR-R10 を 10 ピンターミナルに装着することで選択可能になります。カメラとスピードライトの詳しい接続方法は、カメラおよびサポート対象のスピードライトの使用説明書をご覧ください。



Camera Control Pro の各機能

5/6

重要

カメラコントロール機能では、次のカメラ制御はできません。カメラ本体を直接操作してください。

	機能	カメラ機種
表示も制御も できない機能	コンティニュアスフォーカス機能	対応するすべての機種
	フォーカスロック	対応するすべての機種
	AF のみの動作（[AF & 撮影] ボタンによる撮影時の AF を除く）	対応するすべての機種
	絞りリングによる絞り制御（カスタムセッティングに依存）	D5/D4 シ リ ー ズ /D3 シ リ ー ズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D700/D610/D600/D500/D300 シ リ ー ズ /D7200/D7100/D7000/Df/Z 7/Z 6
	被写界深度のプレビュー	対応するすべての機種
	微速度撮影またはタイムラプス動画	対応するすべての機種
	ファンクションボタンの機能	対応するすべての機種
	セルフタイマー撮影の設定	対応するすべての機種
	リモコン撮影の設定	D 7 5 0 / D 6 1 0 / D 6 0 0 / D 7 0 0 0 / D 5 5 0 0 / D 5 3 0 0 / D 5 2 0 0 / D 5 1 0 0 / D 5 0 0 0 / Z 7 / Z 6
	多重露出	対応するすべての機種

Camera Control Pro の各機能

6/6

制御できないが 表示のみ 可能な機能	フォーカスモードセレクトターの切り替え	対応するすべての機種
	露出モード切り換え **	D750/D610/D600/D90/D7500/ D7200/D7100/D7000/D5600/ D5500/D5300/D5200/D5100/ D5000/Df/Z 7/Z 6
	シャッタースピードのロック *	D5/D4 シ リ ー ズ /D3 シ リ ー ズ /D850/D810/D810A/D800/ D800E/D500/Z 7/Z 6
	絞りのロック *	D5/D4 シ リ ー ズ /D3 シ リ ー ズ /D850/D810/D810A/D800/ D800E/D500/Z 7/Z 6
	AE ロック *	Z 7/Z 6 以外の対応するすべての 機種
	別売スピードライトの調光補正量	D5/D4 シ リ ー ズ /D3 シ リ ー ズ / D500/Df
	ミラーアップの設定	D4 シ リ ー ズ /D3 シ リ ー ズ /D810 /D800/D800E/D750/D700/ D610/D600/D300 シ リ ー ズ / D7200/D7100/D7000/Df

* これらのロックの状態は、LCD 表示エリアにて確認することができます。

** [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) がチェックされていないときは、「露出モードの切り換え」が制御可能となります。

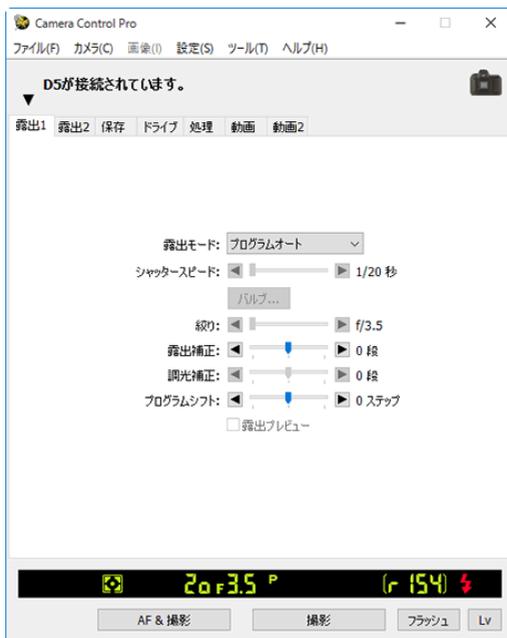
Camera Control Pro パネルの設定

1/37

以下に、各パネルで設定できる項目について説明します。

【露出 1】パネル

【露出 1】パネルでは、次の項目を設定できます。

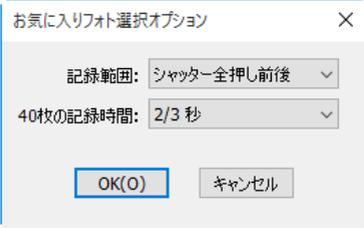


【ベストモーメント キャプチャー】 (Nikon 1 V3)

【お気に入りフォト選択】を選択すると、シャッターボタンを全押しした前後の 40 コマの静止画を撮影できます。

Camera Control Pro パネルの設定

2/37

<p>【詳細】 ボタン (Nikon 1 V3)</p>	<p>「お気に入りフォト選択」が選択されている場合にのみ有効です。クリックすると、「お気に入りフォト選択オプション」ダイアログが表示されます。</p> <p>「お気に入りフォト選択オプション」ダイアログでは、「記録範囲」と「40枚の記録時間」を設定することができます。</p> 
<p>【露出モード】</p>	<p>露出モードを選択することができます（非 CPU レンズを装着した場合の露出モードについては、「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください）。</p> <p>D750、D610、D600、D90、D7500、D7200、D7100、D7000、D5600、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Df、Z 7、Z 6 で カメラ本体のコントロールを有効にする がチェックされている場合は、カメラ側で設定されている露出モードが表示されますが、Camera Control Pro で変更することはできません。露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【シーンモード】 (D750/D610/D600/ D7500/D7200/D7100/ D7000/D5600/D5500/ D5300/D5200/D5100/ D5000)</p>	<p>「露出モード」で「シーンモード」を選択している場合、シーンに合わせて撮影モードを変更できます。シーンモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【エフェクトモード】 (D750/D7500/D7200/ D7100/D5600/D5500/ D5300/D5200/D5100)</p>	<p>「露出モード」で「エフェクトモード」を選択している場合、特殊な効果のついた画像を撮影できます。エフェクトモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

3/37

<p>【シャッタースピード】</p>	<p>【露出モード】で【マニュアル】または【シャッター優先オート】を選択している場合のみ変更できます。ただし、カスタムセッティングの【シャッタースピードと絞り値のロック】で【シャッタースピードのロック】を【する】に設定しているときは、変更できません（D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D700/D500/Z 7/Z 6）。各カメラに設定可能なシャッタースピードの範囲でシャッタースピードを変更できます。シャッタースピードを高速に設定すると、動いている被写体を止まっているように撮影できます。逆に、スピード感を出したいときは、シャッタースピードを低速に設定します。</p>
<p>【バルブ】 (D5/D4 シリーズ / D850/D810/D810A/ D800/D800E/D750/ D610/D600/D500/ D7500/D7200/D7100/ D5600/D5500/D5300/ D5200/Df/Z 7/Z 6/ Nikon 1 V3)</p>	<p>【露出モード】で【マニュアル】を選択し、【シャッタースピード】が【Bulb】の場合に有効です。クリックすると、【バルブ】ダイアログが表示されます。【バルブ】ダイアログで【露光時間】を設定し、バルブ撮影を行います。</p>
<p>【絞り】</p>	<p>【露出モード】で【マニュアル】または【絞り優先オート】を選択している場合、開放絞り値から最小絞り値の範囲で絞り値を変更できます。ただし、カスタムセッティングの【シャッタースピードと絞り値のロック】で【絞り値のロック】を【する】に設定しているときは、変更できません（D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D700/D500/Z 7/Z 6）。絞り値が大きいほど、絞りは小さくなります。非 CPU レンズを装着したカメラを接続した場合には「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください。</p>
<p>【露出補正】</p>	<p>露出補正とは、カメラが適切と判断した露出値を意図的に変更することです。たとえば、被写体にコントラストの強いものがあるために露出をずらして撮影する場合などに使用します。カメラの露出モードによっては変更できません。露出値を変更できる露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

4/37

<p>【調光補正】</p>	<p>調光補正とは、フラッシュとカメラが行う適正な調光を意図的に変えることをいいます。たとえば、発光量を多くして主要被写体を一段と明るく照らしたいとき、あるいは発光量を少なくして、主要被写体に光が強く当たりすぎないようにしたいときなどに使用します。</p>
<p>【プログラムシフト】</p>	<p>【露出モード】で【プログラムオート】を選択している場合、シャッター速度と絞りの組み合わせを変更できます。</p>
<p>【露出プレビュー】 (D5/D4 シリーズ / D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D500/D7500/Df)</p>	<p>【露出プレビュー】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、露出をプレビューします。静止画ライブビュー時のみ設定できます。</p> <p>ただし、次の場合は設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャッター速度が Bulb の場合 (D4/D800/D800E) ・ シャッター速度が Bulb または Time の場合 (D5/D4S/D850/D810/D750/D500/D7500/Df) ・ 【静止画ライブビュー撮影】 の設定が 【無音撮影】 の場合 (D4 シリーズ) ・ 【サイレント撮影 (静止画ライブビュー)】 の設定が 【する (モード 2)】 の場合 (D850) ・ スポットホワイトバランス取得待機中および取得中 (D5/D4S/D850/D810/D810A/D750/D500/D7500/Df)
<p>【AE-L】 (Z 7/Z 6)</p>	<p>【AE-L】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、露出を固定 (ロック) します。</p>

ベストモーメントキャプチャーについて (Nikon 1 V3)

FT1 装着時または動画ライブビュー実行時は、【お気に入りフォト選択】を選択できません。

【露出モード】で【U1】、【U2】または【U3】を選択している場合 (D750/D610/D600/D7500/D7200/D7100/D7000/Z 7/Z 6)

よく使う設定やシーンモードをモードダイヤルの【U1】、【U2】または【U3】に登録できます。【露出モード】で【U1】、【U2】または【U3】を選択している場合、【シーンモード】の欄に【U1】、【U2】または【U3】に設定されているシーンモードが表示されます。Camera Control Pro で変更することはできません。

Camera Control Pro パネルの設定

5/37

【おまかせシーン】について (D5100)

[露出モード] が [オート] または [発光禁止オート] のときにライブビューを開始すると、[おまかせシーン]になります。カメラがシーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定し、[シーンモード] 欄に表示します。Camera Control Pro で変更することはできません。

Bulb を使用するときは

D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/D5200/Df/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3 の場合：

露出モードを [マニュアル] にしてシャッタースピードを Bulb にすると、[バルブ] ボタンが有効になりシャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出 (Bulb またはバルブ) 撮影の設定ができます。[長秒時ノイズ低減] がオンの場合、露光を終了してからファイルが作成されるまでに、露光した時間と同じだけの時間がかかります。

[バルブ] ボタンをクリックすると [バルブ] ダイアログが表示されます。[露光時間] 設定をしてから [開始] ボタンをクリックするとバルブ撮影を開始します。設定した時間が経過すると、自動的に撮影を終了します。バルブ撮影を途中で終了するときは [停止] ボタンをクリックしてください。

D5/D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/D5200/Df/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3 以外の場合：

露出モードを [マニュアル] にしてシャッタースピードを Bulb にすると、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出 (Bulb またはバルブ) 撮影の設定ができます。ただし、この場合、カメラ本体での Bulb 操作は可能ですが、Camera Control Pro からの操作はできません ([撮影] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます)。

D5/D850/D810A/D500/D7500 の場合：

レリーズモードをミラーアップに設定している場合、[バルブ] ダイアログで [開始] ボタンをクリックするとカメラがミラーアップして [ミラーアップ撮影] ダイアログが表示されます。[撮影] ボタンをクリックすると、バルブ撮影を開始します。

露出モードが [エフェクト] のときの画質モードについて (D750/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100)

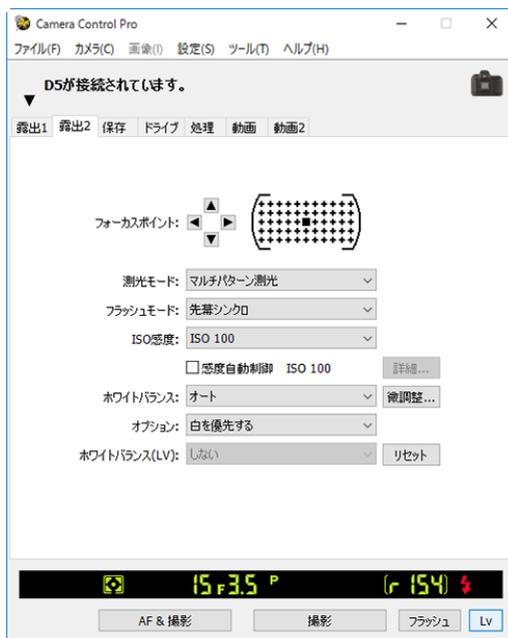
露出モードが [エフェクト] のときは、保存パネルの [画質モード] で選択できるモードが制限されます。

Camera Control Pro パネルの設定

6/37

【露出 2】 パネル

【露出 2】 パネルでは、次の項目を表示および設定できます。



【フォーカスポイント】
(Z 7/Z 6/Nikon 1 V3 以外)

オートフォーカスで撮影するとき、被写体の位置や構図に合わせて、使用するフォーカスポイントを上下左右のボタンで選択します。フォーカスポイントについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。AF エリアモードとフォーカスモードについては、[【ドライブ】](#) パネルをご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

7/37

<p>【測光モード】</p>	<p>カメラに設定されている測光モードが表示されます。</p> <p>D3 シリーズ、D800、D800E、D700、D300 シリーズ、Df の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは、Camera Control Pro 上で変更することはできません。チェックされていないときは、Camera Control Pro 上で変更することもできます。</p> <p>D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D750、D610、D600、D90、D500、D7500、D7200、D7100、D7000、D5600、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Z 7、Z 6、Nikon 1 V3 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされていないにもかかわらず、Camera Control Pro 上で変更することができます。測光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【フラッシュモード】</p>	<p>フラッシュ撮影の場合に、撮影の目的や意図に合わせて、フラッシュモードを選択します。フラッシュモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【発光モード】 (D7500)</p>	<p>【露出モード】 を【プログラムオート】、【絞り優先オート】、【シャッター優先オート】、【マニュアル】 に設定してフラッシュ撮影を行う場合に、設定されているフラッシュモードの発光モードを選択します。発光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【ISO 感度】</p>	<p>撮像感度を標準よりも高く設定することができ、暗いところでの撮影にも対応しています。撮像感度は、プルダウンメニューで設定します。設定可能な撮像感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【感度自動制御】</p>	<p>【感度自動制御】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、感度自動制御が設定されます。D5、D4S、D850、D810、D810A、D750、D500、D7500、D7200、D5600、D5500、D5300、Df、Z 7、Z 6、Nikon 1 V3 の場合、設定された ISO 感度が横に表示されます。</p>
<p>【詳細】 ボタン</p>	<p>感度自動制御が設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、【感度自動制御】 ダイアログが表示されます。</p> <p>【感度自動制御】 ダイアログでは、【制御上限感度】 と【低速限界設定】 を設定することができます。D5、D850、D500、D7500、Z 7、Z 6 の場合、【フラッシュ使用時の制御上限感度】 も設定できます。Nikon 1 V3 の場合、【制御上限感度】 のみ設定できます。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

8/37

【ホワイトバランス】

さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

補足

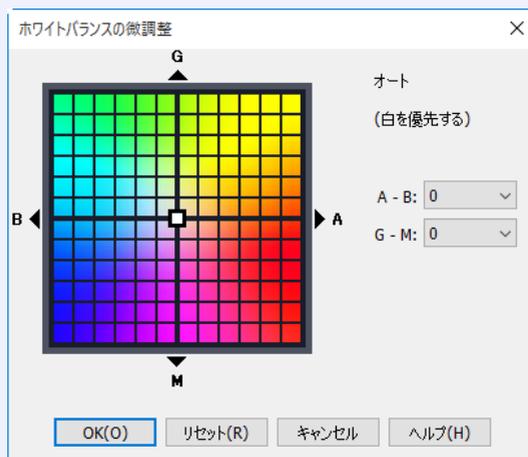
写真に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

【ホワイトバランス】で選択した（選択されているホワイトバランス名はダイアログの右上に表示されます）それぞれのホワイトバランスに対する微調整が可能です。

座標上の A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の 4 方向で、設定段数を各方向 6 段まで微調整できます。設定した各方向の色に画像を補整します。A、B 方向（横軸）は色温度の高さを、G、M 方向（縦軸）は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整ができます。D5、D4S、D850、D810、D810A、D750、D500、D7500、D7200、D5600、D5500、Z 7、Z 6 の場合、A（アンバー）、B（ブルー）方向は色温度の高さを 0.5 段単位で、G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を 0.25 段単位で行えます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

【リセット】 ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。【OK】 ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

【微調整】



Camera Control Pro パネルの設定

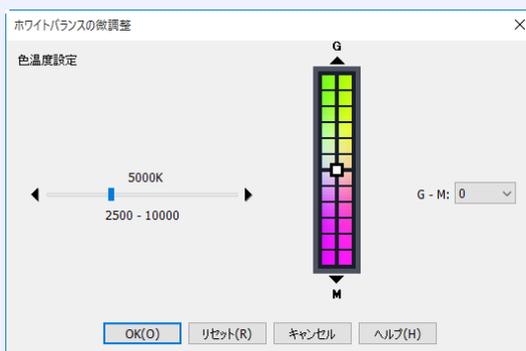
9/37

D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D500、D7500、D7200、Df、Z 7、Z 6 の場合、[ホワイトバランス] で [色温度設定] を選んでいるときは、微調整のダイアログが変更されます。

2500K から 10000K の間を 10K 単位で設定できます。G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向の色温度は 6 段まで微調整できます。D5、D45、D850、D810、D810A、D750、D500、D7500、D7200、Z 7、Z 6 の場合、G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向は色温度の高さを 0.25 段単位で行えます。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト (初期値) に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

[微調整]

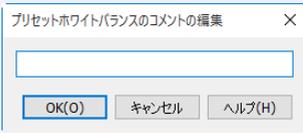


微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D500、D7500、D7200、D7100、Df、Z 7、Z 6 では、選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている場合は、「微調整」ボタンと「編集」ボタンが無効になります。

Camera Control Pro パネルの設定

10/37

<p>【蛍光灯】</p>	<p>[ホワイトバランス] で [蛍光灯] を選択したときにのみ表示されます。蛍光灯の種別を選択できます。</p>
<p>【色温度】 (D3 シリーズ /D700/D610/ D600/D300 シリーズ /D90/ D7100/D7000)</p>	<p>[ホワイトバランス] で [色温度設定] を選択したときにのみ表示されます。 色温度を選択できます。</p>
<p>【オプション】 (D5/D4 シリーズ /D850/ D810/D810A/D800/ D800E/D750/D610/D600/ D500/D7500/D7200/ D7100/D7000/Df/Z 7/Z 6)</p>	<p>[ホワイトバランス] で [オート] を選択したときにのみ表示されます。オートの種別を選択できます。</p>
<p>【コメント】 (D5600/D5500/D5300/ D5200/D5100/D5000/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。</p>
<p>【編集】 ボタン (D5600/D5500/D5300/ D5200/D5100/D5000/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>ホワイトバランスがプリセットに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログが表示されます。</p> <p>[プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。</p> 
<p>【ホワイトバランス (Lv)] (D5/D4 シリーズ /D850/ D810/D810A/D800/ D800E/D500)</p>	<p>静止画ライブビュー時の場合、撮影用のホワイトバランスとは別にパソコンのモニター用ホワイトバランスを設定できます。モニター用のホワイトバランスを設定しても、撮影した画像には影響はありません。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

11/37

【プリセットホワイトバランスのコメントの編集】 ダイアログに入力可能な記号について (D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Nikon 1 V3 以外)

[コメント編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

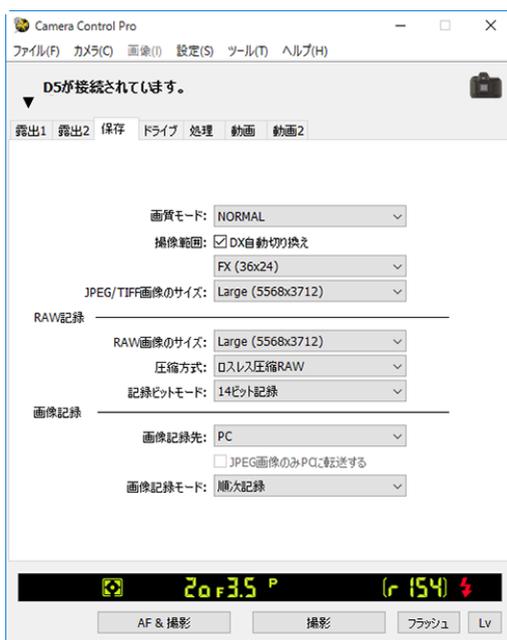
「(スペース)」、「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

Camera Control Pro パネルの設定

12/37

【保存】パネル

【保存】パネルでは、画質モードに関する項目を表示および設定できます。



【画質モード】

接続しているカメラがサポートしているファイル形式と、JPEG 画像の圧縮方式を選択できます。ファイル形式は、ビット数やファイルサイズを決定する基準になります。ファイル形式については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

【JPEG 圧縮】

(D5/D90/D850/D500/D7500/
D5600/D5500/D5300/D5200/
D5100/D5000/Z 7/Z 6/
Nikon 1 V3 以外)

JPEG 画像の圧縮時にファイルサイズと画質のどちらを優先するかを、【サイズ優先】と【画質優先】から選択できます。

Camera Control Pro パネルの設定

13/37

<p>【撮像範囲】 (D5/D4 シリーズ /D3 シリーズ / D850/D810/D810A/D800/ D800E/D750/D700/D610/ D600/D500/D7500/D7200/ D7100/Df/Z 7/Z 6)</p>	<p>撮像範囲を選択できます。</p> <p>D5/D4 シリーズ /D3 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/ D800E/D750/D700/D610/D600/Df の場合：</p> <p>[DX 自動切り換え] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、DX レンズを装着した場合、自動的に DX フォーマットに切り換えます。</p> <p>オフの場合は、メニューで選択されている撮像範囲に設定されます。</p>
<p>【画像サイズ】 (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D500/Z 7/Z 6 以外)</p>	<p>画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【JPEG/TIFF 画像のサイズ】 (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D500/Z 7/Z 6)</p>	<p>JPEG または TIFF の画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【RAW 画像のサイズ】 (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D500/Z 7/Z 6)</p>	<p>RAW 画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【圧縮方式】 (D90/D5600/D5500/D5300/ D5200/D5100/D5000/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>RAW 画像の記録時の圧縮方式を設定します。</p>
<p>【記録ビットモード】 (D90/D5200/D5100/D5000/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>RAW 画像の記録ビット数を設定します。</p>
<p>【画像記録先】 (D5/D4 シリーズ /D3S/D850/ D810/D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/D500/ D7500/D7200/D7100/D7000/ D5600/D5500/D5300/D5200/ D5100/Df/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3)</p>	<p>撮影した画像の記録先として、[PC]、[PC + カード] または [カード] のいずれかを選択できます。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

14/37

<p>[JPEG 画像のみ PC に転送する] (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D750/D500/D7500/D7200/ D5600/D5500/Z 7/Z 6)</p>	<p>[JPEG 画像のみ PC に転送する] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、次の条件をすべて満たした場合は JPEG 画像のみをパソコンに転送します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [画質モード] の設定が [RAW + FINE (画質優先)]、[RAW + FINE]、[RAW + NORMAL (画質優先)]、[RAW + NORMAL]、[RAW + BASIC (画質優先)] または [RAW + BASIC] (D5/D850/D500/D7500/Z 7/Z 6) • [画質モード] の設定が [RAW + FINE]、[RAW + NORMAL] または [RAW + BASIC] (D5/D850/D500/D7500/Z 7/Z 6 以外) • [画像記録先] の設定が [PC+ カード]
<p>[主スロットの選択] (D4 シリーズ /D850/D810/ D810A/D800/D800E/D500)</p>	<p>優先的に使用するスロットを選択できます。</p>
<p>[画像記録モード] (D5/D4 シリーズ /D3S/D850/ D810/D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/D500/ D7200/D7100/D7000)</p>	<p>[画像記録先] で [PC+ カード] または [カード] を選択した場合、画像をカードに記録する保存モードを設定できます。</p> <p>D5/D3S/D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000 の場合：</p> <p>順次記録：スロット 1 →スロット 2 の順に記録します。</p> <p>バックアップ記録：2 つのスロットのメモリーカードに、同じ画像を記録します。</p> <p>RAW + JPEG 分割記録：スロット 1 に RAW 画像、スロット 2 に JPEG 画像を記録します。</p> <p>D4 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D500 の場合：</p> <p>順次記録：優先的に使用するスロットから順に画像を記録します。</p> <p>バックアップ記録：2 つのスロットのメモリーカードに、同じ画像を記録します。</p> <p>RAW+JPEG 分割記録：優先的に使用するスロットのメモリーカードに RAW 画像、もう一方のスロットのメモリーカードに JPEG 画像を記録します。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

15/37

【PC+ カード】 または 【カード】 を選択した場合のご注意 (D5/D4 シリーズ / D3S/D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D500/D7500/D7200/D7100/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Z 7/Z 6/ Nikon 1 V3)

- メモリーカードの空き容量が不足している、メモリーカードの初期化中、またはスロット内にメモリーカードがない場合、撮影することができません。メモリーカードを交換または挿入するか、[PC] を選択してください。
- 撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、警告メッセージが表示されます。メッセージにしたがって、[保存先](#)を変更してください。
- メモリーカードに記録する画像には、IPTC ファイル情報、ICC プロファイルは付加されません。

Camera Control Pro パネルの設定

16/37

【ドライブ】パネル

【ドライブ】パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。



【リリースモード】

カメラのリリースモードを確認・変更できます。選択できるモードは接続したカメラによって異なります。

D5/D4 シリーズ /D3 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D700/D610/D600/D500/D300 シリーズ /D7500/D7200/D7100/D7000/Df : [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) がチェックされているときは、カメラで設定したリリースモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定したリリースモードにかかわらず、リリースモードを変更できます。また、D5 を接続している場合、リリースモードダイヤルが  (クイック設定ポジション) に設定されているときは、[\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) がチェックされていてもパソコン上でリリースモードを変更できます。

D90/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000 : カメラ本体のリリースモードを [セルフタイマー撮影]、[2 秒リモコン撮影]、[瞬時リモコン撮影] に設定した場合、[1 コマ撮影] になります。

D5600 : カメラ本体のリリースモードを [セルフタイマー撮影] に設定した場合、[1 コマ撮影] になります。

Camera Control Pro パネルの設定

17/37

【レリーズモード】

Z 7/Z 6 : [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) がチェックされているときは、カメラ本体と Camera Control Pro の両方でレリーズモードを変更できます。チェックされていないときは、Camera Control Pro のみ変更できます。

【AF& 撮影】 / 【撮影】 ボタン

- レリーズモードを連続撮影に設定している場合、【AF& 撮影】 ボタンが 【AF& 開始】 ボタンに、【撮影】 ボタンが 【開始】 ボタンに変わります。
- レリーズモードをミラーアップに設定している場合、【AF& 撮影】 ボタンが 【AF& ミラーアップ撮影】 ボタンに、【撮影】 ボタンが 【ミラーアップ撮影】 ボタンに変わります。

撮影コマ数

△または▽をクリックするか、テキストボックスに直接入力して、連続撮影するコマ数を設定します。レリーズモードが連続撮影に設定されている場合にのみ、有効になります。LCD 領域右端に表示されたカメラの連続撮影可能コマ数を確認し、それより小さな値を入力して下さい。連続撮影可能コマ数より大きな値を入力した場合には、入力した値が赤く表示されます。画質モードやカメラ側の設定によって、連続撮影可能コマ数は異なります。

【開始 (AF& 開始) ボタン
の長押しで連続撮影する】

(D5/D850/D500/D7500/
Z 7/Z 6)

チェックボックスをオン にすると、【AF& 開始】 ボタンまたは【開始】 ボタンを押している間だけ連続撮影を行います。レリーズモードが連続撮影に設定されている場合にのみ、有効になります。撮影コマ数は、LCD 領域右端に表示されたカメラの連続撮影可能コマ数に自動的に設定されます。

【静止画ライブビュー撮影】
(D4 シリーズ)

静止画ライブビュー時の撮影方法を選択できます。

【無音撮影 (静止画
ライブビュー)】
(D5)

チェックボックスをオン にすると、無音撮影ができます。

【サイレント撮影
(静止画ライブビュー)】
(D850)

静止画ライブビュー撮影時にサイレント撮影するかどうかを設定できます。サイレント撮影については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

【サイレント撮影】
(Z 7/Z 6)

チェックボックスをオン にすると、サイレント撮影ができます。

Camera Control Pro パネルの設定

18/37

<p>【サイレント撮影】 (Nikon 1 V3)</p>	<p>【サイレント撮影】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、撮影時の音を鳴らさないようにできます。</p>
<p>【ブラケットिंग】 (Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>【オート BKT】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、オートブラケットिंगが実行されます。【BKT 設定】 ボタンをクリックすると、【BKT モード】 ダイアログでブラケットिंगを設定できます。詳しくはインターバルタイマー撮影の手順 2をご覧ください。</p>
<p>【連続撮影速度】 (Nikon 1 V3)</p>	<p>レリーズモードが連続撮影に設定されている場合にのみ、有効になります。連続撮影速度を設定します。</p>
<p>【AF エリアモード】</p>	<p>AF エリアモードを設定します。D3 シリーズ、D700、D300 シリーズの場合、【カメラ本体のコントロールを有効にする】 がチェックされているときは、カメラで設定した AF エリアモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックボックスがチェックされていないときは、カメラで設定した AF エリアモードがデフォルト（初期値）として表示されますが、パソコン上で変更することができます。AF エリアモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【顔認識】 (Nikon 1 V3)</p>	<p>【顔認識】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、カメラが人物の顔を自動認識します。フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定している場合は無効になります。</p>
<p>【フォーカスモード】</p>	<p>カメラに設定されているフォーカスモードが表示されます。D3 シリーズ、D700、D300 シリーズでは Camera Control Pro からは変更できません。フォーカスモードは、カメラ上で設定してください。その他のカメラの場合、パソコン上でフォーカスモードを変更できます。フォーカスモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【フリッカー低減】 (D5 (ファームウェア Ver.1.10 以上) /D850/ D500/D7500/Z 7/Z 6)</p>	<p>ファインダー撮影時、蛍光灯や水銀灯などの光源下では、画像にちらつきや横縞（フリッカー現象）が生じる場合があります。【フリッカー低減】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、フリッカー低減が有効になります。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

19/37

<p>[レンズ]</p>	<p>現在カメラに装着されているレンズの焦点距離と開放 F 値などのレンズ情報が表示されます。ただし、装着しているレンズによっては表示されない情報があります。D5、D4 シリーズ、D3 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D700、D610、D600、D500、D300 シリーズ、D7200、D7100、D7000、Df、Z 7、Z 6 で CPU レンズ装着時以外は、手動で登録したレンズ情報が表示され、選択できます。Df の場合、装着しているレンズが AI レンズか非 AI レンズかの情報も表示されます。</p>
<p>[編集] ボタン (D90/D7500/D5600/ D5500/D5300/D5200/ D5100/D5000/Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>このボタンは、非 CPU レンズがカメラに装着されている場合のみ有効です。クリックすると、[レンズ定義] ダイアログが表示されます。</p> <p>[レンズ定義] ダイアログでは、レンズの焦点距離と開放 F 値を設定することができます。[OK] ボタンをクリックすると、設定した焦点距離と開放 F 値が、カメラに送信されます。</p> <div data-bbox="560 699 866 868" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>レンズNo.1 ×</p> <p>焦点距離: N/A ▾</p> <p>開放絞り値: N/A ▾</p> <p>OK(O) キャンセル ヘルプ(H)</p> </div> <p>Df の場合、[露出計連動方式] として [AI レンズ] または [非 AI レンズ] を選択できます。</p> <div data-bbox="560 975 866 1179" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>レンズNo.1 ×</p> <p>焦点距離: N/A ▾</p> <p>開放絞り値: N/A ▾</p> <p>露出計連動方式: AIレンズ ▾</p> <p>OK(O) キャンセル ヘルプ(H)</p> </div>
<p>[ズーム] (Nikon 1 V3)</p>	<p>スライダーを移動すると、ズーム位置を調整できます。PD ズームレンズがカメラに装着され、ライブビュー画面が表示されている場合にのみ有効です。</p>
<p>[光学手ブレ補正] (Nikon 1 V3)</p>	<p>手ブレ補正機能のある 1 NIKKOR レンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。手ブレ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

20/37

【手ブレ補正】 (Z 7/Z 6)	手ブレ補正を行うかどうかを設定します。手ブレ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【メインバッテリーレベル】	カメラのメインバッテリーの残量レベルを表示します。緑色の表示は充分に残量があることを示します。黄色の表示はバッテリーの残量が少なく、充電された予備のバッテリーを準備する必要がありますを示します。赤色の表示はバッテリーが消耗して、交換しなければ撮影できないことを示します。この場合、Camera Control Pro はカメラを制御できなくなることがあります。充電されたリチャージャブルバッテリーまたは AC アダプターをご使用ください。

Camera Control Pro パネルの設定

21/37

セルフタイマー撮影について

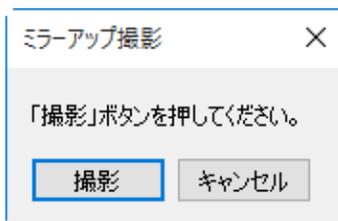
Camera Control Pro の撮影ボタンを使って、セルフタイマー撮影を行うことはできません。カメラでセルフタイマーにセットしても、リリースモードは [1コマ撮影] と表示され、[撮影] ボタンを押しても1コマ撮影となります。セルフタイマー撮影を行う際は、カメラのシャッターボタンを使用してください。

連続撮影可能コマ数について

連続撮影を行っている間、撮影した画像をカメラからパソコンに随時転送します。そのため、転送待ちの画像がある場合には、実際に撮影できるコマ数は、LCD 領域に表示される連続撮影可能コマ数よりも少なくなる場合があります。

ミラーアップ撮影について

[AF&ミラーアップ撮影] または [ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、[ミラーアップ撮影] ダイアログが表示されます。[撮影] ボタンをクリックすると、撮影してミラーダウンします。



Camera Control Pro パネルの設定

22/37

非 CPU レンズを装着した場合

カメラに非 CPU レンズを装着した場合、Camera Control Pro の動作は CPU レンズ装着時とは異なり、また、行うことのできる操作は制限されます。非 CPU レンズ装着時の動作は次のようになります。Camera Control Pro では使用できない操作も、カメラ本体で使用することができます。カメラの操作方法に関してはカメラの使用説明書をご覧ください。

	D5/D4 シリーズ /D3 シリーズ /D850/D810/D810A/D800/D800E/D700/D500/D300 シリーズ /Df	D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000/Z 7/Z 6	D90/D7500/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000
露出モード*	[絞り優先オート] または [マニュアル] のみ選択可能	[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされている場合：変更不可でカメラ側の設定を表示する [カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされていない場合：全モードを選択可能。ただし [マニュアル] 以外では撮影できない	
シャッタースピード	露出モードが [マニュアル] の場合のみ変更可能		
絞り	レンズ定義した場合： 設定した値に「*」マークを付けて表示する レンズ定義していない場合： 変更不可で「f/--」と表示する	変更不可で「f/--」と表示する	
AF& 撮影ボタン	使用不可		
撮影ボタン	使用可能	使用可能**	使用可能***

* D90、D7500、D5600、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000 は非 CPU レンズ使用時、[マニュアル] 以外では撮影できません。D750、D610、D600、D7200、D7100、D7000、Z 7、Z 6 は非 CPU レンズ使用時、[絞り優先オート] または [マニュアル] 以外では撮影できません。

** 露出モードが [絞り優先オート] または [マニュアル] 以外の場合、「露出モードを [絞り優先オート] または [マニュアル] に設定してください」というメッセージが表示されます。

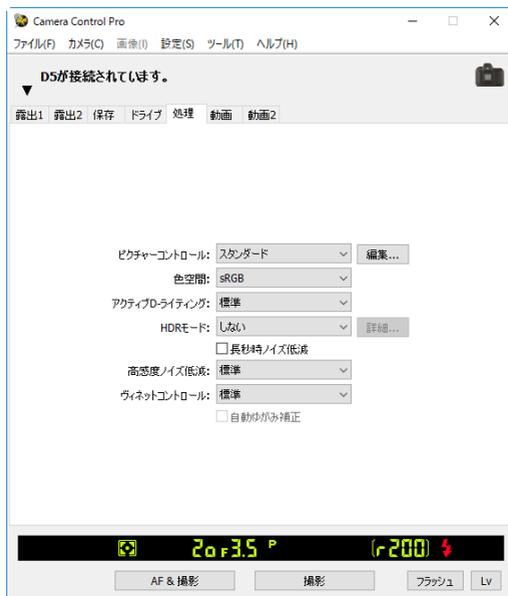
***露出モードが [マニュアル] 以外の場合、「露出モードを [マニュアル] に設定してください」というメッセージが表示されます。

Camera Control Pro パネルの設定

23/37

[処理] パネル

[処理] パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。



[ピクチャーコントロール]	ピクチャーコントロールの種類を選択します。ピクチャーコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[編集] ボタン	クリックすると、Picture Control Utility 2 が起動して、ピクチャーコントロールを編集できます。詳しくは [ピクチャーコントロールの調整方法] をご覧ください。
[色空間]	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[アクティブ D-ライティング]	アクティブ D-ライティングを設定します。アクティブ D-ライティングについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。Nikon 1 V3 の場合、[アクティブ D-ライティング] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、アクティブ D-ライティングが有効になります。

Camera Control Pro パネルの設定

24/37

<p>【HDR モード】 (D5/D4 シリーズ /D850/ D810/D810A/D800/ D800E/D750/D610/ D600/D500/D7500/ D7200/D7100/D5600/ D5500/D5300/D5200/ D5100/Df/Z 7/Z 6)</p>	<p>HDR 撮影を有効にします。D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D500、D7500、D7200、D7100、D5100、Df、Z 7、Z 6 の場合、[詳細] ボタンをクリックすると、設定を変更できます。HDR については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【長秒時ノイズ低減】</p>	<p>シャッタースピードが低速になると、画像にノイズが入る場合があります。[長秒時ノイズ低減] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、このノイズを低減させることができます。シャッタースピードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【高感度ノイズ低減】</p>	<p>撮像感度が高感度になると、画像にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。選択できるメニューと [高感度ノイズ低減] が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。Nikon 1 V3 の場合、[高感度ノイズ低減] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、高感度ノイズ低減が有効になります。</p>
<p>【ヴィネットコントロール】 (D5/D4 シリーズ /D3 (ファームウェア Ver.1.10 以上) /D3X/D3S/D850/ D810/D810A/D800/ D800E/D750/D700/D610/ D600/D500/D7500/ D7200/D5600/D5500/Df/ Z 7/Z 6)</p>	<p>ヴィネットコントロールの強さを設定します。ヴィネットコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【回折補正】 (Z 7/Z 6)</p>	<p>回折補正を有効にします。レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像度が低下する、回折現象を補正して撮影します。</p>
<p>【自動ゆがみ補正】 (D3 シリーズ /D700/D300 シリーズ /D90 以外)</p>	<p>自動ゆがみ補正を有効にします。自動ゆがみ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

25/37

[HDR モード] について

以下の場合、一度 HDR 撮影すると HDR モードが [しない] に戻ります。

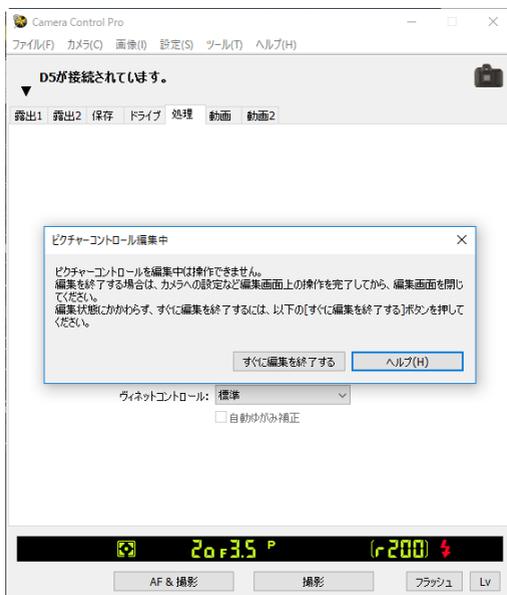
- D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D500、D7500、D7200、D7100、Df、Z 7、Z 6 で [HDR モード] を [する (1 回)] に設定した場合
- D5600、D5500、D5300、D5200、D5100 の場合

ピクチャーコントロールの調整方法

[ピクチャーコントロール] の [編集] ボタンをクリックすると、Picture Control Utility 2 が起動してピクチャーコントロールを調整できます。

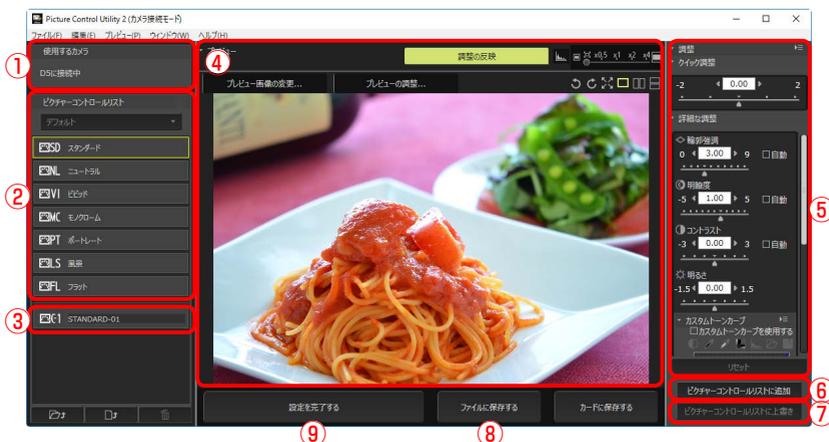
Picture Control Utility 2 について

- 調整の内容など、Picture Control Utility 2 の詳しい使用方法については Picture Control Utility 2 のヘルプをご覧ください。
- ピクチャーコントロールの編集中は、Camera Control Pro を操作できません。表示されたダイアログで [すぐに編集を終了する] をクリックすると、編集した内容を破棄して Picture Control Utility 2 を終了します。



Camera Control Pro パネルの設定

26/37



①	【使用するカメラ】	Camera Control Pro に接続中のカメラの名前が表示されます。
②	【ピクチャーコントロールリスト】	接続中のカメラに登録されているピクチャーコントロールが表示されます。調整したいピクチャーコントロールをクリックして選べます。
③	カスタムピクチャーコントロール	接続中のカメラにカスタムピクチャーコントロールが保存されている場合や、Picture Control Utility 2 で新たにカスタムピクチャーコントロールを作成した場合に表示されます。カスタムピクチャーコントロール名をクリックすると、名前を変更できます。
④	【プレビュー】	プレビュー画像を見ながらピクチャーコントロールを調整します。プレビュー画像は拡大表示したり、画像を変更したりすることもできます。
⑤	【調整】	選んだピクチャーコントロールを調整できます。詳しくは Picture Control Utility 2 のヘルプやカメラの使用説明書をご覧ください。
⑥	【ピクチャーコントロールリストに追加】	クリックするとダイアログが表示されます。登録先を選択して名前を入力し、[OK] をクリックするとカスタムピクチャーコントロールを登録できます。
⑦	【ピクチャーコントロールリストに上書き】	カスタムピクチャーコントロールを調整した場合に調整内容を上書き保存します。

Camera Control Pro パネルの設定

27/37

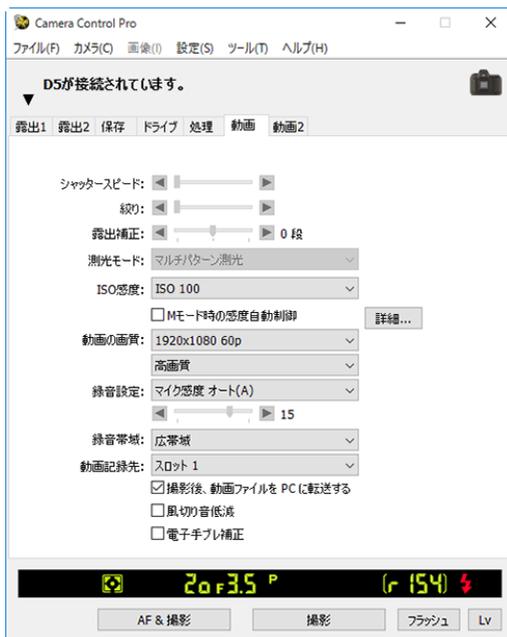
⑧ 【ファイルに保存する】	パソコンにカスタムピクチャーコントロールを保存します。
⑨ 【設定を完了する】	Picture Control Utility 2 を終了します。

Camera Control Pro パネルの設定

28/37

【動画】 パネル（動画撮影に対応したカメラ）

動画撮影に対応したカメラの場合、【動画】 パネルが表示されます。【動画】 パネルでは、動画撮影に関する項目を表示および設定できます。



【動画モード】
(Nikon 1 V3)

動画の種類を [HD 動画]、[スローモーション] から設定します。

【シャッタースピード】

(D5/D4 シリーズ /D850/D810/
D810A/D800/D800E/D750/D610/
D600/D500/D7500/D7200/D7100/
Z 7/Z 6)

動画のシャッタースピードを設定します。

【絞り】

(D5/D4 シリーズ /D850/D810/
D810A/D800/D800E/D750/D610/
D600/D500/D7500/D7200/D7100/
Z 7/Z 6)

動画の絞り値を設定します。D610、D600、D7200 の場合、絞り値は表示のみで設定はできません。

Camera Control Pro パネルの設定

29/37

<p>【露出補正】 (D5/D4 シリーズ /D850/D810/ D810A/D800/D800E/D750/D610/ D600/D500/D7500/D7200/D7100/ Z 7/Z 6)</p>	<p>動画の露出を補正します。</p>
<p>【測光モード】 (D5/D850/D810/D810A/D750/ D500/D7500/D7200/Z 7/Z 6)</p>	<p>動画で使用する測光モードを設定します。</p>
<p>【ISO 感度】 (D5/D4 シリーズ /D850/D810/ D810A/D800/D800E/D750/D610/ D600/D500/D7500/D7200/D7100/ Z 7/Z 6)</p>	<p>露出モード M 時の動画の ISO 感度を設定します。露出モード P、S、A の場合、ISO 感度は常に自動制御されます。Z 7、Z 6 では、露出モードが P、S、A、M 以外の場合は設定できません。</p>
<p>【ISO 感度範囲】 (D4)</p>	<p>感度自動制御をしている場合の、動画の ISO 感度の範囲を設定します。</p>
<p>【M モード時の 感度自動制御】 (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D750/D500/D7500/D7200/Z 7/ Z 6)</p>	<p>【M モード時の感度自動制御】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、露出モード M のときもカメラが自動的に動画撮影時の ISO 感度を変更します。【詳細】 ボタンをクリックすると、感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、上限感度を設定できます。</p>
<p>【動画の画質】</p>	<p>撮影する動画ファイルのサイズ、フレームレート、画質を選択します。Nikon 1 V3 の場合、【動画モード】を【HD 動画】に設定した場合のみ表示されます。</p>
<p>【スローモーション】 (Nikon 1 V3)</p>	<p>スローモーションのフレームレートを設定します。【動画モード】を【スローモーション】に設定した場合のみ表示されます。</p>
<p>【録音設定】</p>	<p>マイクの感度を設定できます。【録音しない】を選択すると、音声を録音しません。D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D500、D7500、D7200、D7100、D5600、D5500、D5300、D5200、Z 7、Z 6 では、【マイク感度マニュアル】に設定すると、音量調整スライダーで値を設定できます。Nikon 1 V3 の場合、【動画モード】を【HD 動画】に設定した場合のみ有効です。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

30/37

<p>【録音帯域】 (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D750/D500/D7500/D7200/Z 7/ Z 6)</p>	<p>内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホンの周波数特性を設定します。</p>
<p>【動画記録先】 (D7500/D5600/D5500/D5300/ D5200/D5100/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>メモリーカードを 2 枚使用している場合に動画を記録するスロットを設定します。</p>
<p>【撮影後、動画ファイルを PC に転送する】</p>	<p>[撮影後、動画ファイルを PC に転送する] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、撮影後に動画ファイルをパソコンに転送します。Nikon 1 V3 の場合、動画撮影中に撮影した静止画も転送します。オフ <input type="checkbox"/> にしている場合、動画ファイルはメモリーカードにのみ保存されます。</p>
<p>【風切り音低減】 (D5/D4S/D850/D810/D810A/ D750/D500/D7500/D7200/D5600/ D5500/D5300/Z 7/Z 6/Nikon 1 V3)</p>	<p>[風切り音低減] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。</p>
<p>【アッテネーターを有効にする】 (D850/Z 7/Z 6)</p>	<p>[アッテネーターを有効にする] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、大音量の環境下で動画記録をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。</p>
<p>【動画のマニュアル設定】 (D7000/D5600/D5500/D5300/ D5200)</p>	<p>[動画のマニュアル設定] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、【露出モード】 を [マニュアル] に設定している場合に、動画撮影中でも 【シャッタースピード】 と 【ISO 感度】 の設定ができるようになります。D5600、D5500、D5300、D5200 の場合、[ISO 感度] はライブビュー中のみ設定が可能です。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

31/37

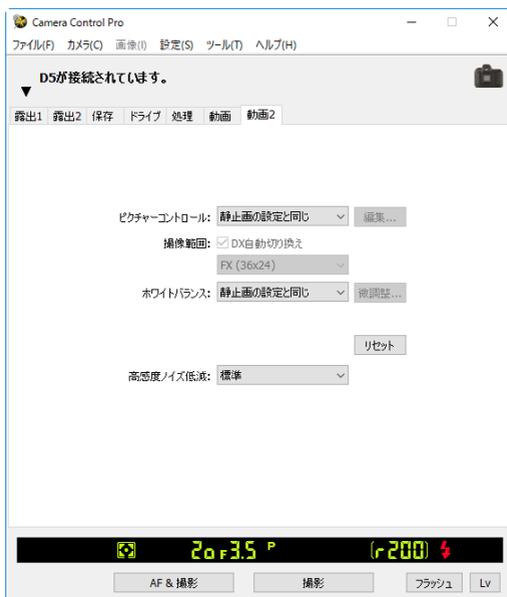
<p>【電子手ブレ補正】 (D5 (ファームウェア Ver.1.10 以上)/D850/D500/D7500/Z 7/Z 6/ Nikon 1 V3)</p>	<p>[電子手ブレ補正] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、撮影時に電子手ブレ補正を行います。</p> <p>次の場合、電子手ブレ補正は機能しません。</p> <ul style="list-style-type: none">• D5 で [動画の画質] を [1920 × 1080 クロップ] に設定した場合• D850 で [動画の画質] を [1920 × 1080 30p 4 倍スロー]、[1920 × 1080 25p 4 倍スロー] または [1920 × 1080 24p 5 倍スロー] に設定した場合• D5、D850、D500、D7500 で [動画の画質] を [3840 × 2160] に設定した場合• D850 でピーキングが [しない] 以外に設定されている場合• Z 7、Z 6 で [動画の画質] を [1920 × 1080 120p]、[1920 × 1080 100p]、[1920 × 1080 30p 4 倍スロー]、[1920 × 1080 25p 4 倍スロー] または [1920 × 1080 24p 5 倍スロー] に設定した場合• Nikon 1 V3 で [動画モード] を [スローモーション] に設定するか、[動画の画質] を [60p] に設定した場合
<p>【手ブレ補正】 (Z 7/Z 6)</p>	<p>手ブレ補正を行うかどうかを設定します。手ブレ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

32/37

【動画 2】 パネル (D5/D850/D750/D500/D7500/D7200/Z 7/Z 6)

【動画 2】 パネルでは、動画撮影に関する次の項目を表示および設定できます。



<p>【ピクチャーコントロール】</p>	<p>ピクチャーコントロールの種類を選択します。ピクチャーコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【編集】 ボタン</p>	<p>クリックすると、Picture Control Utility 2 が起動して、ピクチャーコントロールを編集できます。詳しくは 【ピクチャーコントロールの調整方法】 をご覧ください。</p>
<p>【アクティブ D-ライティング】 (D850/D500/D7500/Z 7/Z 6)</p>	<p>アクティブ D-ライティングを設定します。アクティブ D-ライティングについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p> <p>次の場合、アクティブ D-ライティングは機能しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • D850 で [動画の画質] を、[3840 × 2160]、[1920 × 1080 30p 4 倍スロー]、[1920 × 1080 25p 4 倍スロー] または [1920 × 1080 24p 5 倍スロー] に設定した場合 • D850 でピーキングが [しない] 以外に設定されている場合 • D7500 で [動画の画質] を [3840 × 2160] に設定した場合 • D7500、Z 7、Z 6 で [露出モード] の設定が [プログラムオート]、[絞り優先オート]、[シャッター優先オート]、[マニュアル] 以外の場合 • Z 7、Z 6 で [HDMI] の [外部記録制御] を [する] にしてログを出力中の場合

Camera Control Pro パネルの設定

33/37

【撮像範囲】	<p>撮像範囲を選択できます。</p> <p>D5/D850/D750 の場合：</p> <p>[DX 自動切り換え] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、DX レンズを装着した場合、自動的に DX ベースの（動画）フォーマットに切り換えます。</p> <p>オフの場合は、メニューで選択されている撮像範囲に設定されます。</p>
【ホワイトバランス】	<p>さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

補足

動画に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

Camera Control Pro パネルの設定

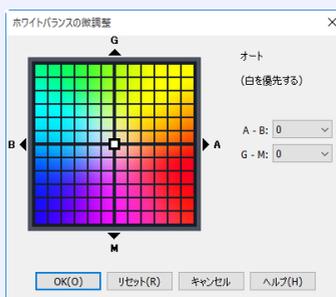
34/37

[ホワイトバランス] で選択した（選択されているホワイトバランス名はダイアログの右上に表示されます）それぞれのホワイトバランスに対する微調整が可能です。

座標上の A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、設定段数を各方向6段まで微調整できます。設定した各方向の色に動画を補整します。A（アンバー）、B（ブルー）方向は色温度の高さを0.5段単位で、G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

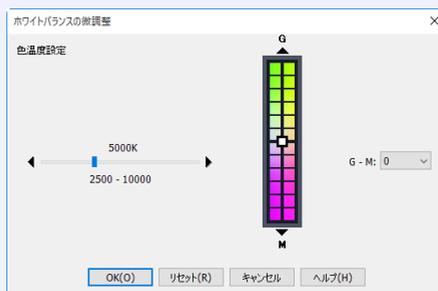
[微調整]



[ホワイトバランス] で [色温度設定] を選んでいるときは、微調整のダイアログが変更されます。

2500K から 10000K の間を 10K 単位で設定できます。G（グリーン）、M（マゼンタ）方向の色温度は6段まで0.25段単位で微調整できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

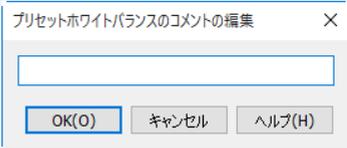


微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている場合は、「微調整」ボタンと「編集」ボタンが無効になります。

Camera Control Pro パネルの設定

35/37

[蛍光灯]	[ホワイトバランス] で [蛍光灯] を選択したときにのみ表示されます。蛍光灯の種別を選択できます。
[オプション]	[ホワイトバランス] で [オート] を選択したときにのみ表示されます。オートの種類を選択できます。
[コメント]	ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。
[編集] ボタン	<p>ホワイトバランスがプリセットに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログが表示されます。</p> <p>[プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。</p> 

[プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について

[コメント編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「(スペース)」、[]、["]、[#]、[\$]、[%]、[&]、[']、[(]、[)]、[*]、[+]、[,]、[-]、[.]、[/]、[:]、[;]、[<]、[=]、[>]、[?]、[@]、[[]、[]]、[_]、[{]、[}]

[高感度ノイズ低減]	<p>撮像感度が高感度になると、動画にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。選択できるメニューと [高感度ノイズ低減] が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p> <p>Z 7/Z 6 の場合：</p> <p>[HDMI] の [外部記録を制御する] にチェックを入れてログを出力しているときは、高感度ノイズ低減は機能しません。</p>
[ヴィネットコントロール] (Z 7/Z 6)	<p>ヴィネットコントロールの強さを設定します。ヴィネットコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

Camera Control Pro パネルの設定

36/37

【回折補正】 (Z 7/Z 6)	回折補正を有効にします。レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像度が低下する、回折現象を補正して撮影します。
【自動ゆがみ補正】 (Z 7/Z 6)	自動ゆがみ補正を有効にします。自動ゆがみ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【AF エリアモード】 (Z 7/Z 6)	AF エリアモードを設定します。AF エリアモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【フォーカスモード】 (Z 7/Z 6)	フォーカスモードを設定します。フォーカスモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【ファイル形式】 (D850/D7500/Z 7/ Z 6)	動画のファイル形式を選べます。

Camera Control Pro パネルの設定

37/37

【動画 3】 パネル (Z 7/Z 6)

[動画 3] パネルでは、動画撮影に関する次の項目を表示および設定できます。



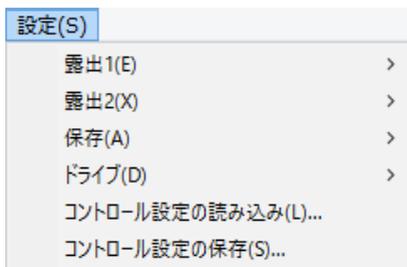
【タイムコードの記録】	動画にタイムコードを記録できます。タイムコードの記録については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【スタート...】	タイムコードの起点を設定します。タイムコードの起点については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【カウントアップ方式】	タイムコードのカウントアップ方式を設定します。タイムコードのカウントアップ方式については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【ドロップフレーム】	【ドロップフレーム】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、タイムコードのドロップフレームを有効にします。

コントロール設定の保存と読み込み

1/2

[Camera Control Pro] ウィンドウの各パネルで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。

[設定] メニューから次のメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行います。
Nikon 1 V3 の場合、ライブビュー画面が表示されている場合のみ有効です。



[露出 1]	[露出 1] パネルの一部の機能を設定できます。
[露出 2]	[露出 2] パネルの一部の機能を設定できます。
[保存]	画質モードを変更できます。
[ドライブ]	[ドライブ] パネルの一部の機能を設定できます。
[コントロール設定の読み込み]	<p>[コントロール設定の保存] で保存した設定を読み込みます。接続しているカメラで保存した設定を読み込んでください。</p> <p>このメニュー項目を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、コントロール設定ファイル（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）を選択します。現在の [Camera Control Pro] ウィンドウの設定が、選択したファイルの設定に変わります。</p>
[コントロール設定の保存]	<p>現在の [Camera Control Pro] ウィンドウの設定をファイルに保存します。保存した設定は、[コントロール設定の読み込み] で呼び出せます。</p> <p>このメニュー項目を選択すると、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）。</p>

コントロール設定の保存と読み込み

2/2

【コントロール設定の保存】で保存されない項目について

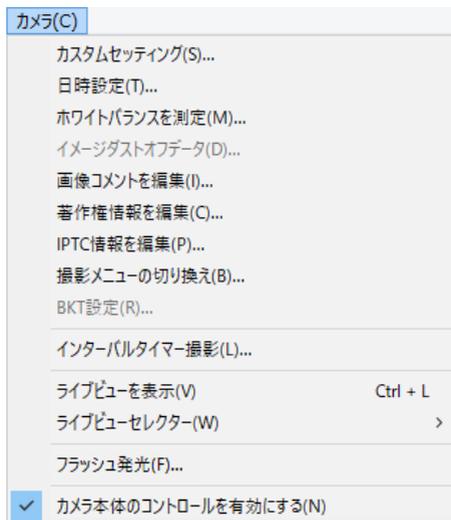
[コントロール設定の保存] で設定を保存しても、以下の項目は保存できません。

- [\[露出 1\] パネルの \[露出プレビュー\] チェックボックス](#)のオン / オフ
- [\[露出 2\] パネルのホワイトバランス \[コメント\]](#) の編集内容
- [\[露出 2\] パネルの \[ホワイトバランス \(Lv\)\]](#)
- [\[ドライブ\] パネルの \[開始 \(AF& 開始\) ボタンの長押しで連続撮影する\] チェックボックス](#)のオン / オフ
- [\[ドライブ\] パネルの \[オート BKT\] チェックボックス](#)のオン / オフ
- [\[ドライブ\] パネルの \[BKT モード\] ダイアログ](#)の全項目
- [\[ドライブ\] パネルの \[レンズ\]](#) の編集内容
- [\[動画\] パネルの \[シャッタースピード\]、\[絞り\]、\[露出補正\]、\[測光モード\]、\[撮影後、動画ファイル\]を PC に転送する](#)

[カメラ] メニューについて

1/8

Camera Control Proの[カメラ]メニューから次のメニュー項目を選択することによって、カメラの設定を変更したり、撮影した画像にさまざまな画像調整を行うことができます。



[カスタムセッティング]

(D750/D610/D600/
D7500/D7200/D7100/
D5600/D5500/D5300/
D5200/D5100/Df/
Nikon 1 V3 以外)

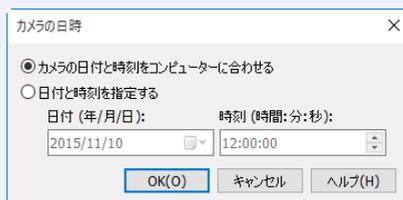
[カスタムセッティング] を選択すると、撮影時のカメラの設定を変更できる [カスタムセッティング] ダイアログが開きます。詳細な内容については「[カスタムセッティング](#)」を参照してください。

[日時設定]

[日時設定] を選択すると、[カメラの日時] ダイアログが開きます。ここでは、使用するカメラの日時設定を行うことができます。

[カメラの日付と時刻をコンピューターに合わせる] を選択すると、パソコンに設定されている日時をカメラと同期します。[日付と時刻を指定する] を選択すると、任意の日時を設定できます。

[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定した内容がカメラに反映されます。



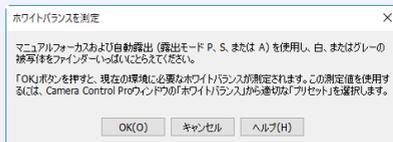
【カメラ】メニューについて

2/8

[ホワイトバランスを測定] を選択すると、プリセットホワイトバランスをセットすることができます。

D5600、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Nikon 1 V3 の場合：

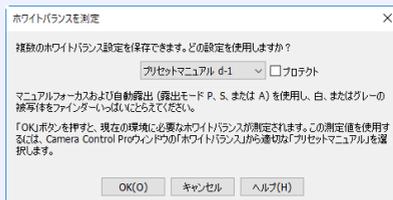
[OK] ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます。



D5600、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Nikon 1 V3 以外の場合：

[ホワイトバランスを測定]

ポップアップメニューよりデータの保存先を選択し、[OK] ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます。[プロテクト] チェックボックスをオン にすると、選択しているプリセットをプロテクトできます（D5、D4 シリーズ、D850、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D500、D7500、D7200、D7100、Df、Z 7、Z 6）。プリセットホワイトバランスの詳細な設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。



D750/D610/D600/D90/D7500/D7200/D7100/D7000/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000 の撮影モードダイヤルについて

[ホワイトバランスを測定] する場合は、撮影モードダイヤルを [P]、[S]、[A]、[M] のいずれかの露出モードに設定してください。

[カメラ] メニューについて

3/8

<p>[イメージダストオフデータ] (Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>[イメージダストオフデータ] を選択すると、[イメージダストオフデータ] ダイアログが開きます。ここでは Capture NX-D などの [イメージダストオフ] で使用できるイメージダストオフデータを取得できます。</p> <div data-bbox="524 312 902 493" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">イメージダストオフデータ ×</p> <p>「OK」ボタンを押すと、イメージダストオフデータを撮影します。 真っ白なものをレンズの10cm前に置いて撮影してください。</p> <p>この画像は、Capture NX-Dでイメージダストオフ用に使用されます。</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="OK(O)"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="ヘルプ(H)"/> </p> </div> <p>[イメージダストオフデータ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、イメージダストオフデータを取得します。イメージダストオフデータの撮影方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>[画像コメントを編集] (Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>[画像コメントを編集] を選択すると、[画像コメントを編集] ダイアログでカメラで設定したコメントを表示および編集できます。</p> <p>[画像コメントをつける] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ここで表示されているコメントが画像に記録されます。チェックボックスをオフ <input type="checkbox"/> にすると、撮影画像には記録されませんが、[画像コメント] のコメントエリアに入力されます。</p> <p>[OK] ボタンをクリックすると、設定がカメラに保存され、撮影する画像に適用されます。</p> <div data-bbox="594 987 829 1110" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">画像コメントを編集 ×</p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="checkbox"/> 画像コメントをつける</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="OK(O)"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="ヘルプ(H)"/> </p> </div>
<p>[著作権情報を編集] (D5/D4 シリーズ /D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) /D3X/D3S/D850/D810/D810A/D800/D800E/D750/D700/D610/D600/D300S/D300 (ファームウェア Ver.1.10 以上) /D500/D7500/D7200/D7100/D7000/D5600/D5500/Df/Z 7/Z 6)</p>	<p>[著作権情報を編集] を選択すると、[著作権情報を編集] ダイアログが開きます。撮影者名、著作権者名が編集できます。[画像に著作権情報をつける] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ここで表示されている撮影者名、著作権者名が画像に記録されます。</p> <div data-bbox="594 1313 829 1493" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">著作権情報を編集 ×</p> <p>撮影者名: <input type="text"/></p> <p>著作権者名: <input type="text"/></p> <p><input type="checkbox"/> 画像に著作権情報をつける</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="OK(O)"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </p> </div>

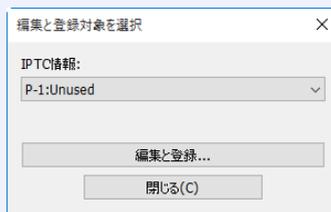
[カメラ] メニューについて

4/8

[IPTC 情報を編集] を選択すると [IPTC 情報を編集] ダイアログが開き、IPTC プリセットの編集、登録、および削除ができます。[IPTC 情報] で IPTC プリセットを選択して、[画像に IPTC 情報をつける] チェックボックスをオン にすると、選択した IPTC プリセットの情報が画像に添付されます。



IPTC プリセットの編集および登録を行う場合は、[編集と登録 ...] ボタンをクリックして [編集と登録対象を選択] ダイアログを開きます。



[IPTC 情報を編集] (D5/D500)

[IPTC 情報] で編集したい IPTC プリセットを選択して、[編集と登録 ...] ボタンをクリックすると、選択した IPTC 情報の編集ができます。



[カメラ] メニューについて

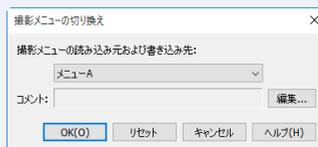
5/8

[撮影メニューの切り換え]

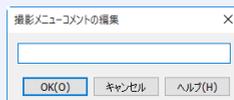
(D750/D610/D600/
D90/D7500/D7200/
D7100/D7000/D5600/
D5500/D5300/D5200/
D5100/D5000/Z 7/Z 6/
Nikon 1 V3 以外)

[撮影メニューの切り換え] を選択すると、[撮影メニューの切り換え] ダイアログが開きます。撮影メニューについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

撮影メニューのセット状態を4通り記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。また、各撮影メニューのコメントの編集や、撮影メニューのセット状態のリセットを行うこともできます。



[編集] ボタンをクリックすると、[撮影メニューコメントの編集] ダイアログが表示されます。[撮影メニューコメントの編集] ダイアログでは、各撮影メニューのコメントを編集することができます。使用できる記号に関しては、「Camera Control Pro のダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。



[カメラ] メニューについて

6/8

Camera Control Pro のダイアログに入力可能な文字について

半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

- ・「 (スペース)」、「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」
- ・ IPTC プリセットおよび D5、D850、D500、D7500 の画像コメントと著作権情報では、次の記号も入力することができます：「\」、「^」、「`」、「|」、「~」

IPTC プリセットに登録可能な文字数について

IPTC プリセットの登録名および各 IPTC プリセットには、登録できる文字数に制限があります。IPTC プリセットの登録名は 18 文字まで、各 IPTC プリセットは以下の登録可能文字数まで半角英数字で登録できます。

IPTC プリセット	登録可能文字数
説明	2000
イベント ID	64
ヘッドライン	256
タイトル	256
市町村名	256
都道府県名	256
国名	256
カテゴリー	3
追加カテゴリー	256
作成者	256
作成者 役職	256
説明記入者	256
提供者	256
所有者	256

[カメラ] メニューについて

7/8

<p>[BKT 設定] (Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>[BKT 設定] を選択すると、[BKT モード] ダイアログが開きます。詳細な内容については、インターバルタイマー撮影の手順 2 を参照してください。</p>
<p>[インターバルタイマー撮影]</p>	<p>[インターバルタイマー撮影] を選択すると、[インターバルタイマー撮影] ダイアログが開きます。詳細な内容については、[インターバルタイマー撮影] を参照してください。</p>
<p>[ライブビューを表示]</p>	<p>[ライブビューを表示] を選択すると、[ライブビュー] ウィンドウが表示されてライブビューモードに切り替わります。もう一度 [ライブビューを表示] を選択すると、[ライブビュー] ウィンドウが閉じます。</p>
<p>[ライブビューセレクト] (D5/D4 シリーズ /D850/ D810/D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/D500/ D7500/D7200/D7100/Z 7/ Z 6/Nikon 1 V3)</p>	<p>「静止画ライブビュー」または「動画ライブビュー」のいずれかを選択できます。D4 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているとき、またはライブビュー中は選択できません。</p>
<p>[フラッシュ発光] (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)</p>	<p>[フラッシュ発光] を選択すると、[フラッシュ発光] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、[フラッシュ発光] を参照してください。[フラッシュ発光] は、接続したカメラの静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] が選択可能な場合に有効になります。カメラの静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] は、SB-5000 などサポート対象のスピードライトをアクセサリケースに装着するか、WR-R10 を 10 ピンターミナルに装着することで選択可能になります。カメラとスピードライトの詳しい接続方法は、カメラおよびサポート対象のスピードライトの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>[HDMI 外部記録を制御する] (D850)</p>	<p>チェックをオンにすると、HDMI ケーブルでカメラと市販の外部レコーダーを接続している場合に、カメラ側の操作に連動して外部レコーダーの動画記録の開始、終了を行えます。</p>
<p>[HDMI] (Z 7/Z 6)</p>	<p>[HDMI] を選択すると、[HDMI] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、[HDMI] を参照してください。[HDMI] は、接続したカメラのセットアップメニュー [HDMI] が選択可能な場合に有効になります。</p>

【カメラ】メニューについて

8/8

**【カメラ本体のコントロール
を有効にする】**
(Nikon 1 V3 以外)

チェックをオンにすると、接続したカメラを直接操作して撮影することができます。チェックをオフにすると、電源スイッチ、フォーカスモードセレクター以外のすべてのカメラ本体での操作が行えなくなります。

カスタムセッティング

1/2

[カスタムセッティング] ダイアログでは、カメラに設定されているカスタムセッティングの内容を参照したり、変更したりすることができます。カスタムセッティングについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

D750/D610/D600/D7500/D7200/D7100/D5600/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Nikon 1 V3 のカスタムセッティング

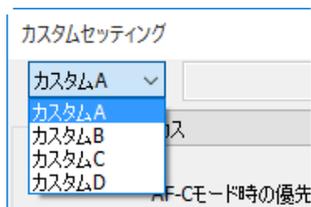
上記の機種は、カスタムセッティングに対応していません。

- 1 [カメラ] メニューの [カスタムセッティング] を選択します。
[カスタムセッティング] ダイアログには、接続されているカメラのカスタムセッティングが表示されます。

カスタムセッティングの内容

[カスタムセッティング] ダイアログに表示されている各項目を変更すると、カメラに変更内容が送信され、カメラ側のカスタムセッティングに反映されます。カメラを直接操作することなく、カスタムセッティングの内容を変更できます。

- 2 カスタムセッティングを切り換えるときは、ウインドウ上部のメニューを開き、表示されるポップアップメニューの中から選択します。
カスタムセッティングは、使用するカメラの機種によって選択できる数が異なります。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



- 3 各項目を変更して [OK] ボタンをクリックすると、変更した内容がカメラに反映されます。

注意

カスタムセッティングの内容をファイルに保存することはできません。また、[リセット] ボタンをクリックすると、すべての項目が初期設定に戻ります。

カスタムセッティング

2/2

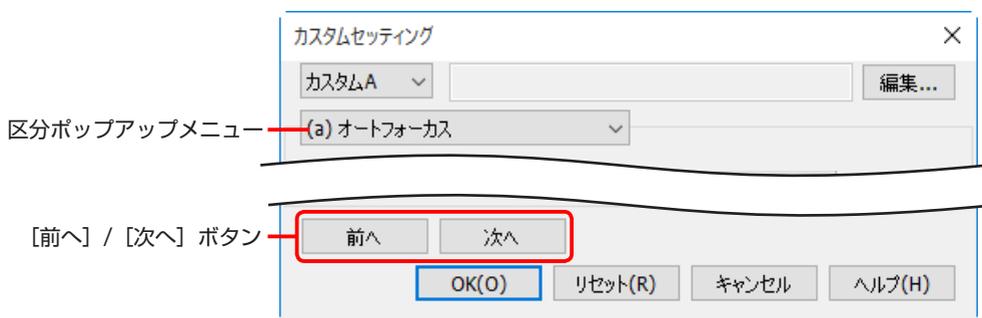
カスタムセッティングとコメントについて

D90、D7000、D5000、Z 7、Z 6 以外のカメラでは、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」からカスタムセッティングを選択することができます。また、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」は、それぞれお好みの名前に変更することができます。カスタムセッティングの切り換えリストの右横にある[編集] ボタンをクリックすると、[コメント編集] ダイアログが表示されます。

[コメント編集] ダイアログでは、各カスタムセッティングの名前を編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「カスタムセッティングの [コメント編集] ダイアログに 入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定した名称が、カメラに送信されます。

カスタムセッティングの区分について

各パネルでは、それぞれの区分に属するカスタムセッティングを設定することができます。表示するパネルの切り換えは、区分ポップアップメニュー、または [前へ] / [次へ] ボタンで行います。



カスタムセッティングの [コメント編集] ダイアログに入力可能な記号について (D90/D7000/D5000 以外)

[コメント編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：
 「(スペース)」、「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

1/7

【発光設定】 タブ

カメラに装着したスピードライト発光モードと補正量などの設定を変更できます。カメラから離れたスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御するための方式なども設定できます。



【ワイヤレス設定】

カメラにSB-5000、SB-500、またはWR-R10を装着した場合、[ワイヤレス設定]でリモートフラッシュの制御方法を選べます。ワイヤレスで複数のスピードライトを発光させる、アドバンスドワイヤレスライティング撮影（AWL）の制御方法を選択します。[しない]に設定した場合は、カメラのアクセサリシューに装着したスピードライト（マスターフラッシュ）の発光モードと補正量などの設定を変更できます。

フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

2/7

[増灯発光モード]

増灯時のフラッシュ発光方法を設定します。

[グループ発光]：

各グループの発光モードと発光制御値を設定できます。[ワイヤレス設定] が [光制御 AWL] の場合は [マスターフラッシュ] と [A グループ] ～ [C グループ]、[電波制御 AWL] または [光制御 AWL/ 電波制御 AWL] の場合は [マスターフラッシュ] と [A グループ] ～ [F グループ] が設定できます。[光制御 AWL/ 電波制御 AWL] の場合、[マスターフラッシュ] と [A グループ] ～ [C グループ] が光で制御するグループ、[D グループ] ～ [F グループ] が電波で制御するグループです。

[M 発光量の一括シフト] を使用すると、発光モードをマニュアル発光に設定しているグループの発光量をまとめて設定できます。◀1/3 または 1/3▶ をクリックすると 1/3 段、◀ または ▶ をクリックすると 1 段ずつシフトします。



フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

3/7

【クイックワイヤレス】：

[A グループ] と [B グループ] の光量比を設定します。[C グループ] は、発光モードで [M] を選ぶと設定した発光量でマニュアル発光します。



【増灯リピーティング発光】：

【増灯発光モード】

[切り替え] を [する] に設定したグループの発光量と回数、周波数を設定できます。[ワイヤレス設定] が [光制御 AWL] の場合は [マスターフラッシュ] と [A グループ] ～ [C グループ]、[電波制御 AWL] の場合は [マスターフラッシュ] と [A グループ] ～ [F グループ] が設定できます。[光制御 AWL/ 電波制御 AWL] の場合、[マスターフラッシュ] と [A グループ] ～ [C グループ] が光で制御するグループ、[D グループ] ～ [F グループ] が電波で制御するグループです。



【テスト発光】

クリックするとすべてのグループでテスト発光を行います。

フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

4/7

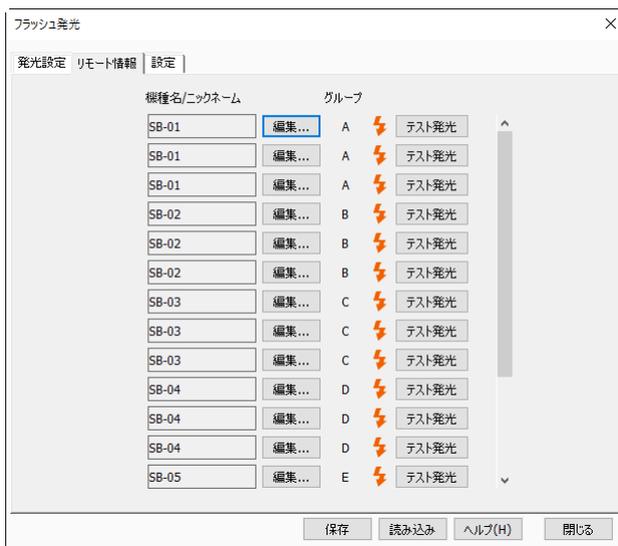
【保存】 ボタン	クリックすると、現在の [発光設定] タブと [設定] タブの設定をフラッシュ設定ファイル (.nsb) の形式で保存できます。
【読み込み】 ボタン	保存したフラッシュ設定ファイル (.nsb) を選択して現在接続しているスピードライトに適用することができます。保存時とグループの状態が異なる場合、設定は無効になります。

フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

5/7

【リモート情報】 タブ

電波制御 AWL で接続したスピードライトの一覧を表示します。機種名やニックネームの編集も行えます。



【機種名 / ニックネーム】	接続したスピードライトの名称が最大 18 台表示されます。ニックネームが設定されている場合、ニックネームが表示されます。
【編集】 ボタン	<p>クリックすると、【機種名 / ニックネーム編集】ダイアログが表示されます。8 文字までの半角英数字または各種記号を入力できます。英字は大文字のみ使用できます。</p> <div data-bbox="470 1061 924 1260" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: right;">機種名/ニックネーム編集 ×</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> OK キャンセル ヘルプ </div> </div>
【グループ】	スピードライトの所属するグループが表示されます。

フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

6/7

<p>スピードライトの状態</p>	<p>スピードライトの状態をアイコンで表示します。</p> <p> : 待機状態</p> <p> : バッテリー警告</p> <p> : 発熱エラー状態</p>
<p>[テスト発光]</p>	<p>クリックすると、選んだスピードライトのテスト発光を行います。</p>
<p>[保存] ボタン</p>	<p>クリックすると、現在の [発光設定] タブと [設定] タブの設定をフラッシュ設定ファイル (.nsb) の形式で保存できます。</p>
<p>[読み込み] ボタン</p>	<p>保存したフラッシュ設定ファイル (.nsb) を選択して現在接続しているスピードライトに適用することができます。保存時とグループの状態が異なる場合、設定は無効になります。</p>

【機種名 / ニックネーム編集】ダイアログに入力可能な記号について

[機種名 / ニックネーム編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「_」、「-」、「#」、「(」、「)」、「+」、「:」、「;」、「@」

フラッシュ発光 (D5/D850/D500/Z 7/Z 6)

7/7

【設定】 タブ

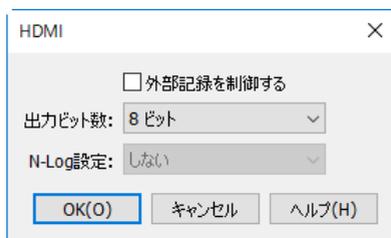
スピードライトの通信設定を行えます。



【リンクモード】	電波制御 AWL 時の接続方法を設定できます。
【PIN コード】	【リンクモード】 が 【PIN コード】 の場合に、PIN コードを入力して設定できます。
【チャンネル】	光制御 AWL 時のチャンネルを設定できます。
【保存】 ボタン	クリックすると、現在の【発光設定】タブと【設定】タブの設定をフラッシュ設定ファイル (.nsb) の形式で保存できます。
【読み込み】 ボタン	保存したフラッシュ設定ファイル (.nsb) を選択して現在接続しているスピードライトに適用することができます。保存時とグループの状態が異なる場合、設定は無効になります。

HDMI (Z 7/Z 6)

HDMI 対応機器との接続時の設定を変更できます



【外部記録を制御する】	チェックをオンにすると、カメラメニュー [HDMI] の [外部記録制御] を有効にします。
【出力ビット数】	カメラメニュー [HDMI] の [出力ビット数] を設定します。
【N-Log 設定】	カメラメニュー [HDMI] の [N-Log 設定] を有効にするかどうかを設定します。[出力ビット数] を [8 ビット] に設定している場合は設定できません。

付録

環境設定		121
[一般] パネル		122
[カラーマネージメント] パネル	<i>Windows</i>	124
	<i>Mac</i>	126
[ライブビュー] パネル (D850)		128
アンインストール		
	<i>Windows</i>	129
	<i>Mac</i>	130
標準 RGB 色空間について		131
トラブルシューティング		133
カスタマー登録とサポート窓口のご案内		134

環境設定

1/8

Windows の場合、Camera Control Pro の [ツール] メニューから [オプション] を、Mac の場合は、[Camera Control Pro] から [環境設定] を選択すると、[オプション (環境設定)] ダイアログが表示されます。



Windows



Mac

Camera Control Pro の [オプション (環境設定)] ダイアログの各パネルでは、次のようなユーザー環境を設定できます。

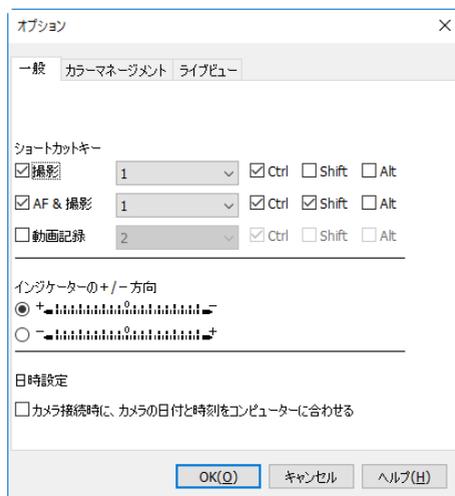
- [\[一般\] パネル](#)
- [カラーマネージメント] パネル ([Windows](#)、[Mac](#))
- [\[ライブビュー\] パネル](#)

環境設定

2/8

【一般】 パネル

【一般】パネルでは、特定のボタンにショートカットキーを割り当てたり、インジケータの方向を変更できます。ショートカットキーは Camera Control Pro が起動している場合は常に有効です。



<p>【撮影】</p>	<p>[撮影] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、[撮影] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac：control/shift/option/command）も選択できます。</p>
<p>【AF & 撮影】</p>	<p>[AF & 撮影] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、[AF & 撮影] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac：control/shift/option/command）も選択できます。</p>
<p>【動画記録】</p>	<p>[動画記録] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、[動画記録] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac：control/shift/option/command）も選択できます。</p>

環境設定

3/8

ショートカットキーが無効になる場合

ダイアログが表示されている場合や、画像をパソコンに転送している場合は、ショートカットキーは動作しません。OS や他のアプリケーションとショートカットキーが重複する場合、いずれかのショートカットキーが無効になる場合があります。設定が重複しないように注意してください。

ショートカットキーが重複する場合

複数のボタンに同一のショートカットキーを割り当てた場合、警告ダイアログが表示されます。複数のボタンにショートカットキーを割り当てる場合は、重複しないように設定してください。

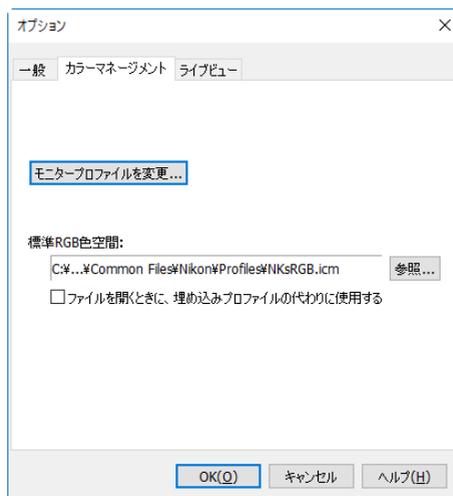
[インジケータの +/- 方向]	LCD 領域の露出インジケータの + と - の方向を設定できます。 [BKT モード] ダイアログの [露出ステップ幅 (段)] のインジケータの向きも変更されます。
[日時設定]	[カメラ接続時に、カメラの日付と時刻をコンピューターに合わせる] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、カメラと Camera Control Pro が接続された場合に、コンピューターに設定されている日時に合わせてカメラの日時を同期します。

環境設定

4/8

【カラーマネージメント】パネル (Windows)

Windows の [カラーマネージメント] パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。



【モニタープロファイルを変更】ボタン

ご使用のモニターの特性を補正するために使われるディスプレイプロファイルを設定します。

クリックすると、[色の管理] ウィンドウが開きます。[このデバイスに自分の設定を使用する] にチェックを入れ、[追加] ボタンをクリックして、ディスプレイプロファイルを指定します。

【標準 RGB 色空間】

画像を扱う際の作業用（出力）色空間を設定します。[参照] ボタンをクリックして RGB プロファイルを指定します。

[ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] のチェックボックスをオン にすると、標準 RGB 色空間で設定された色空間が作業用色空間となります。チェックボックスをオフ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。

環境設定

5/8

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境で表示する場合は、主に画像を表示するディスプレイに合ったプロファイルを設定してください。

デフォルト（初期値）のディスプレイプロファイル

パソコンでカラープロファイルが設定されていない場合には、NKMonitor_Win.icm をデフォルト（初期値）のディスプレイプロファイルとして使用します。NKMonitor_Win.icm は sRGB に相当します。

【カラーマネージメント】パネルの設定

【カラーマネージメント】パネルで変更した内容は ViewNX-i、ViewNX 2 で共有され、各アプリケーションのオプション（環境設定）の【カラーマネージメント】パネルに反映されます。Capture NX-D または別売の Capture NX 2 には反映されません。

環境設定

6/8

【カラーマネージメント】 パネル (Mac)

Mac の [カラーマネージメント] パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。また、ディスプレイプロファイルについては、システム環境設定のディスプレイで設定されているプロファイルが反映されます。



【書類のデフォルト
ColorSync プロファイル】
セクション

画像の表示に使用する、ICC プロファイルを設定します。

【標準 RGB 色空間】：画像を扱う際の作業用（出力）色空間（ICC プロファイル名）を選択できます。[ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] チェックボックスをオン にすると、ここで設定したプロファイルが画像を扱う際の作業用色空間となります。チェックボックスをオフ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。

【装置のプロファイル】
セクション

ディスプレイプロファイルの設定を行います。

【ディスプレイプロファイルの変更】：[ディスプレイプロファイルの変更] ボタンをクリックすると、システム環境設定のディスプレイが開きます。ここで、[カラー] タブを選択して、ディスプレイのプロファイルを参照および変更することができます。

環境設定

7/8

補足

[標準 RGB 色空間] に入力用のプロファイルを設定した場合、Camera Control Pro では、sRGB 色空間が設定されたものとして動作します。

【カラーマネージメント】 パネルの設定

[カラーマネージメント] パネルで変更した内容は Capture NX-D、別売の Capture NX 2 には反映されませんが ViewNX-i、ViewNX 2 には反映されます。ただし、ディスプレイプロファイルの変更は、OS の設定を変更するため、すべてのソフトウェアに影響します。

マルチディスプレイ

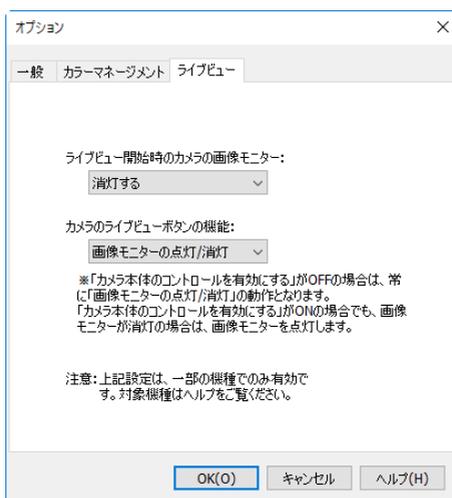
マルチディスプレイの環境では、ウィンドウのより多くのエリアを表示しているディスプレイのプロファイルを取得し表示します。従って、ディスプレイごとに異なるプロファイルを使って表示を行うことができます。

環境設定

8/8

【ライブビュー】 パネル (D850)

ライブビューに関する設定を変更できます。



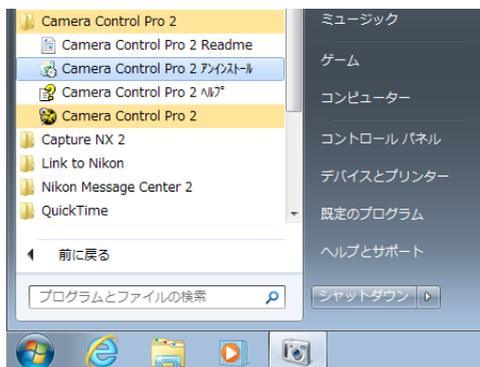
<p>【ライブビュー開始時のカメラの画像モニター】</p>	<p>ライブビュー開始時のカメラの画像モニター表示を設定できます。</p> <p>消灯する：ライブビューを開始すると、カメラの画像モニターは消灯します。</p> <p>点灯する：ライブビューを開始後も、カメラの画像モニターは点灯しています。ライブビュー時にカメラを操作して設定を変更することができます。</p>
<p>【カメラのライブビューボタンの機能】</p>	<p>カメラのライブビューボタンの機能を設定できます。</p> <p>画像モニターの点灯／消灯：カメラのライブビューボタンを押すと、カメラの画像モニターの点灯または消灯を切り替えられます。</p> <p>ライブビューの起動／終了：カメラのライブビューボタンを押すと、ライブビュー撮影を開始または終了します。[カメラ]メニューで [カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされていない場合、カメラの画像モニターの点灯または消灯が切り替わります。</p>

アンインストール

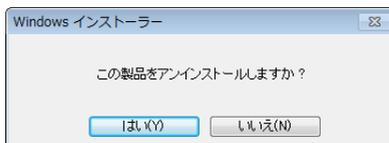
Windows

Camera Control Pro をアンインストールする際は、管理者 (Administrator) 権限のアカウントでログオンしてください。

- 1** スタートのプログラム一覧から [Camera Control Pro 2] → [Camera Control Pro 2 アンインストール] を選択します。



- 2** アンインストールの確認ダイアログが表示されます。



[はい] ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。

- 3** Camera Control Pro とほかのプログラムで共有している共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画面の表示を確認しながらファイルを削除、または残します。

- 4** パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

Windows 10 または Windows 8.1 をお使いの場合

Windows 10 または Windows 8.1 の場合は、コントロールパネル内の「ソフトウェアのアンインストール」から行ってください。

アンインストール

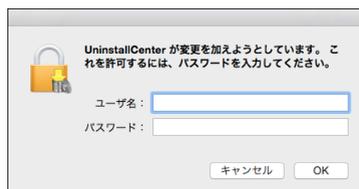
Mac

Camera Control Pro をアンインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

- 1 [アプリケーション] → [Nikon Software] → [Camera Control Pro 2] の順にフォルダを選択し、[Camera Control Pro 2 Uninstaller] をダブルクリックしてください。



- 2 Camera Control Pro のアンインストールには、管理者の [名前] と [パスワード] が必要です。
管理者の名前とパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。



- 3 [はい] ボタンをクリックしてください。



- 4 [終了] ボタンをクリックしてください。



標準 RGB 色空間について

1/2

	色空間	Windows	Mac	内容
ガンマ1.8系	Apple RGB	NKApple.icm	Nikon Apple RGB 4.0.0	Adobe Photoshop 4.0 以前のバージョンで使用されていた RGB 色空間です。各種 DTP アプリケーションでも使用されている、Mac 用モニターの平均的な RGB 色空間です。Mac 上で画像を表示する場合に適しており、バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Apple RGB」に相当します。
	ColorMatch RGB	NKCMatch.icm	Nikon ColorMatch RGB 4.0.0	Radius 社の Pressview モニター用の色空間で、Apple RGB よりもやや色域が広く、特に青の色域が広いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Color Match RGB」に相当します。

標準 RGB 色空間について

2/2

色空間	Windows	Mac	内容
sRGB	NKsRGB.icm	Nikon sRGB 4.0.0	ほとんどの Windows 用モニターの代表として定義された色空間です。一般的なカラー TV の色空間にも非常に似通っており、近年アメリカで標準となりつつあるデジタル TV 放送用色空間でもあります。この色空間を初期設定色空間として使用するハードウェア、ソフトウェアが多く見受けられます。近年 Web ページに用いる画像の標準色空間になりつつあり、スキャンした画像を編集またはプリントせず、そのまま電子画像として使用する場合に適しています。しかし色域が狭く、特に青の色域が狭いのが特徴です。Adobe Photoshop 5.0 または 5.5 における RGB 設定の「sRGB」、Adobe Photoshop 6.0 における「sRGB IEC61966-2.1」に相当します。
Bruce RGB	NKBruce.icm	Nikon Bruce RGB 4.0.0	Bruce Fraser 氏が定義した色空間です。xy 色度図上で「Adobe RGB」の G と「ColorMatch RGB」の G の間に G の色度を定義し、sRGB の青の色域を広げて SWOP CMYK の色域を包含する色域を実現しています。Bruce RGB の R と B は「Adobe RGB」と一致しています。
NTSC (1953)	NKNTSC.icm	Nikon NTSC 4.0.0	National Television Standard Committee (NTSC) で定義されたビデオ色空間で、従来のカラーテレビの標準 RGB 色空間です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「NTSC (1953)」に相当します。
Adobe RGB (1998)	NKAdobe.icm	Nikon Adobe RGB 4.0.0	Adobe Photoshop 5.0 で定義された色空間です。sRGB よりもかなり色域が広く、ほとんどのプリンターの CMYK 色域を包含しているので、DTP 関連の業務に適しています。Adobe Photoshop 5.0 の RGB 設定の「SMPT-240M」、バージョン 5.5 以降の「Adobe RGB (1998)」に相当します。
CIE RGB	NKCIE.icm	Nikon CIE RGB 4.0.0	Commission Internationale de l'Eclairage (CIE) で定義された色空間です。色域はかなり広めですが、シアン系の色域が狭いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「CIE RGB」に相当します。
Adobe Wide RGB	NKWide.icm	Nikon AdobeWide RGB 4.0.0	Adobe 社が定義した可視カラーの大半を表現できる色空間です。しかしこの色空間で定義される色の大半は一般的なモニターやプリンターでは表現できない色となります。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Adobe Wide RGB」に相当します。

ガンマ 2.2 系

トラブルシューティング

撮影画像が表示されない

[転送オプション] の [\[カメラから新しい画像を受け取った時\]](#) の設定が [何もしない]、[Capture NX 2 の監視フォルダに保存する] になっていないか確認してください。上記の設定になっている場合は、[ViewNX-i に表示する] または [ViewNX 2 に表示する] を選択してください。

カメラ本体で操作ができない

カメラメニューの [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) にチェックがオフになっていないか確認してください。オフになっている場合は、チェックをオンにしてください。また、ライブビュー撮影中は [カメラ本体のコントロールを有効にする] がオンになっていても、カメラ本体を操作できません。ライブビュー撮影を終了してください。

Camera Control Pro で操作ができない

カメラメニューの [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) にチェックがオンになっていないか確認してください。オンになっている場合は、チェックをオフにしてください。

パソコンとカメラや通信アクセサリーとの接続でお困りのときは

<https://nikonimglib.com/ccp2/onlinehelp/ja/troubleshooting.html> をご覧ください。

カスタマー登録とサポート窓口のご案内

カスタマー登録のご案内

Camera Control Pro のインストール前または後に [Welcome] ウィンドウの [Nikon オンライン関連リンクボタン] をクリックすると表示される画面の [カスタマー登録] ボタンをクリックしてください。インターネットを通じてカスタマー登録を行うことができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。

カスタマー登録



カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

<https://reg.nikon-image.com>

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

株式会社 **ニコン**

© 2007 Nikon Corporation